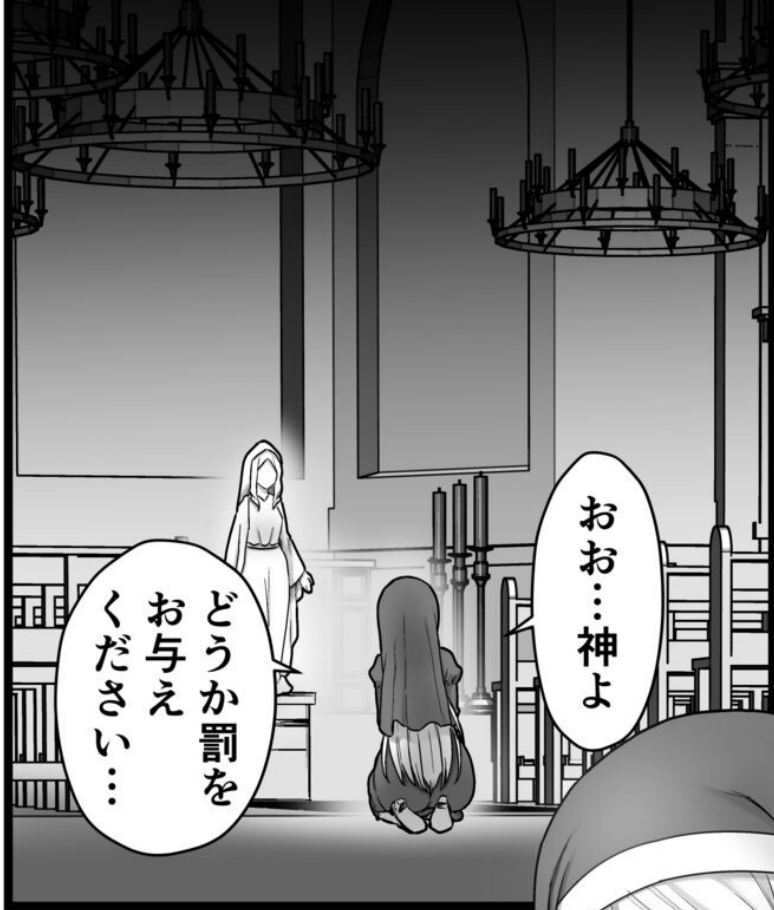




寄生聖女
シエステイア



おお…神よ

どうか罰を
お与え
ください…



私は
親愛なる
後輩アニーを

劣情の元
心の内で
恥ずかしめ
ました



いけないとは
わかりつつも

彼女を一目
見てしまうと

聖職に携わる
身でありながら

淫らな心に
支配されて
しまうのです

うっ…
うっ…
うっ…

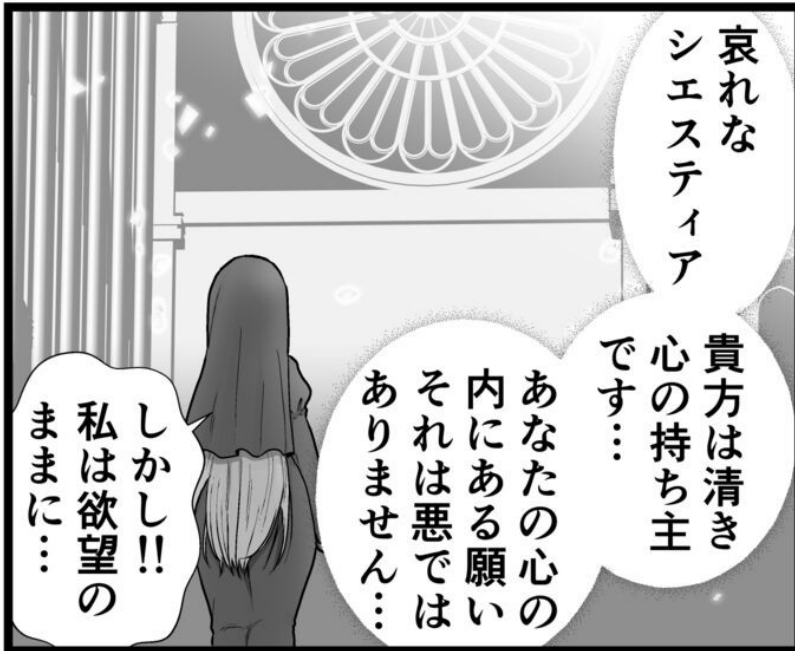
キラキラ
キラキラ
キラキラ



シエステティア…

シエステティアよ…
聞こえますか？

ヒクッ
グッ



哀れな
シエステティア

貴方は清き
心の持ち主
です…

あなたの心の
内にある願い
それは悪では
ありません…

しかし!!
私は欲望の
ままに…



今あなたの
脳内に
直接語り
かけています

!
あなたは!
神ですか!?



全てを
受け入れる
のです…

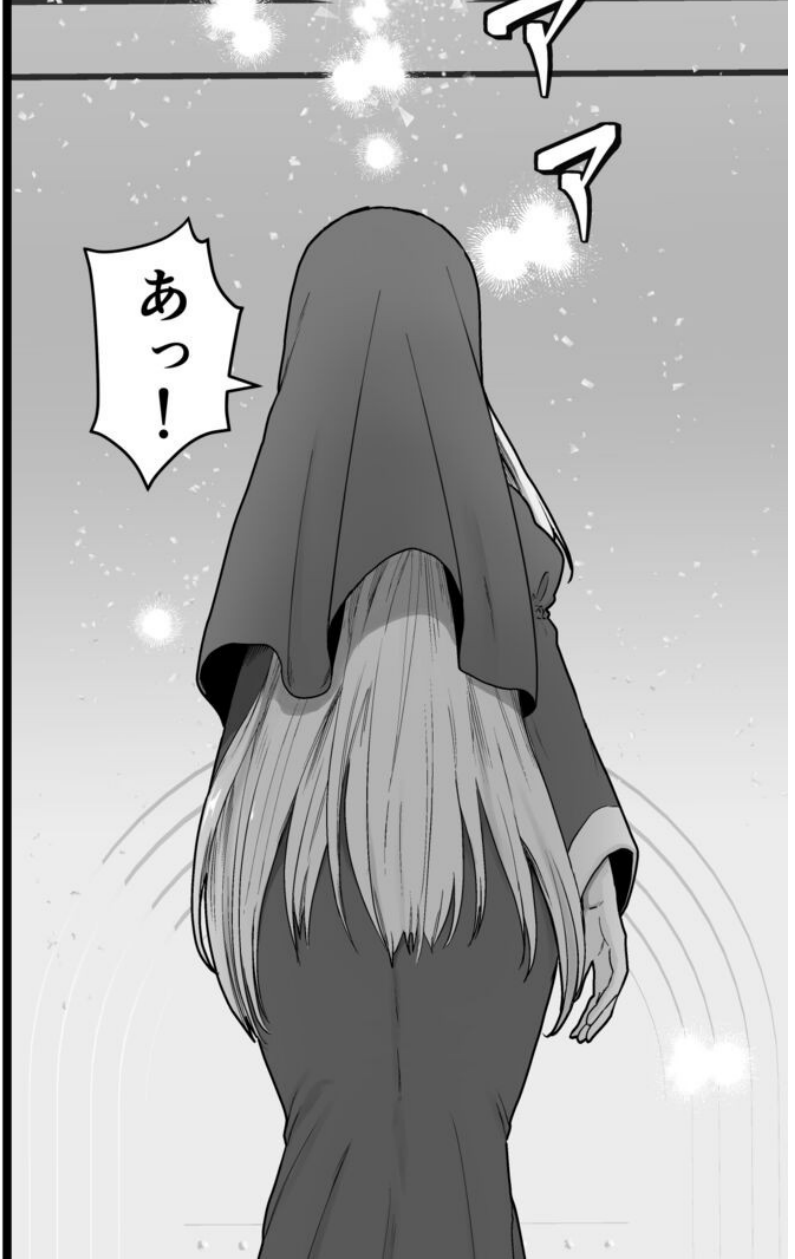
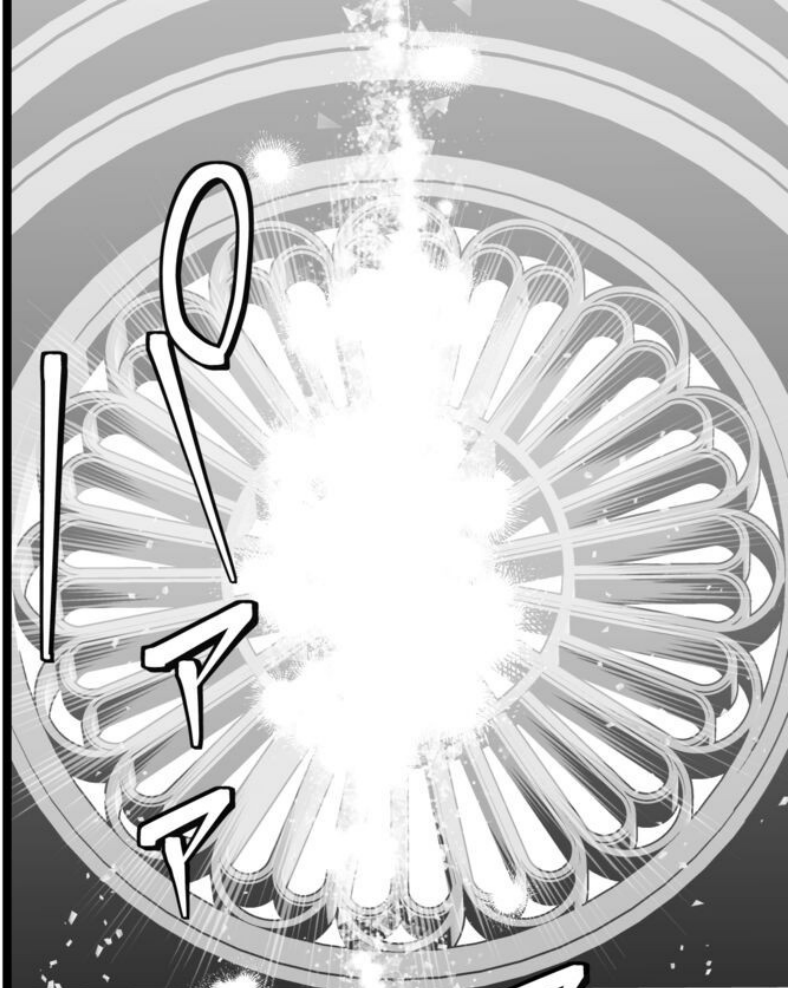
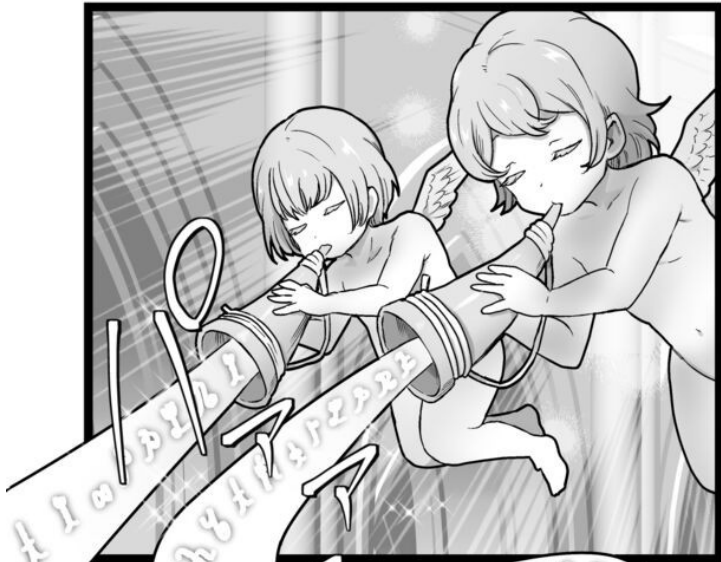


シエステティアよ…
全て受け入れる
のです…

善か悪かなど
所詮は人の子らが
作った基準に
過ぎません…

貴方に
素晴らしい
力を授け
ましょう…

えっ？





くっくっくっ

ギチギチギチ

あっ♡

ズズ

はあん♡

ヒクヒク

はへ♡

ハハハ

ズズ



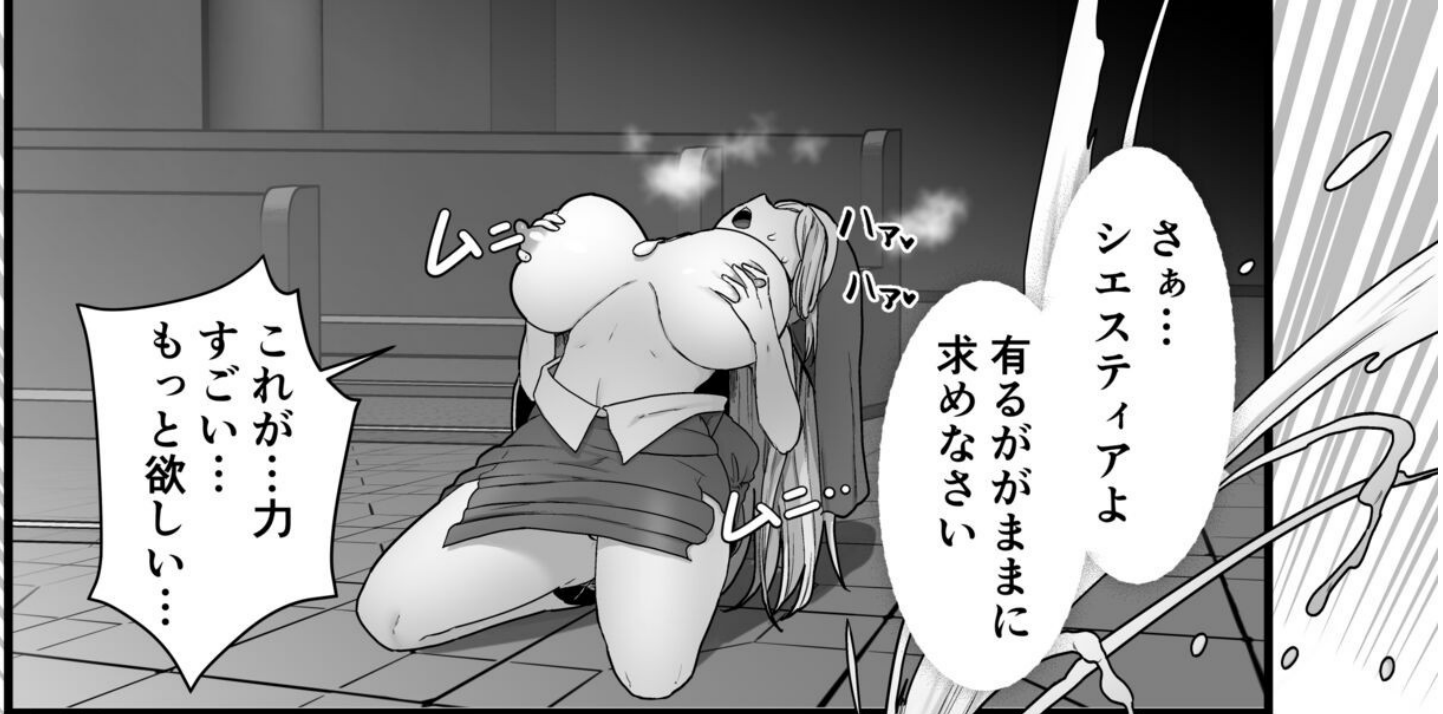
気持ちが
よいでしょう？
人間が知る
感覚など
ほんのわずかに
すぎません



人の尺度など
その程度
なのです

いひい!!!
んほおおおっ♡♡♡

♡♡♡



これが…力
すごい…
もっと欲しい…

有るががままに
求めなさい

さあ…
シエステティアよ



欲しい!

もっと…



あぁあっ
♡♡♡♡

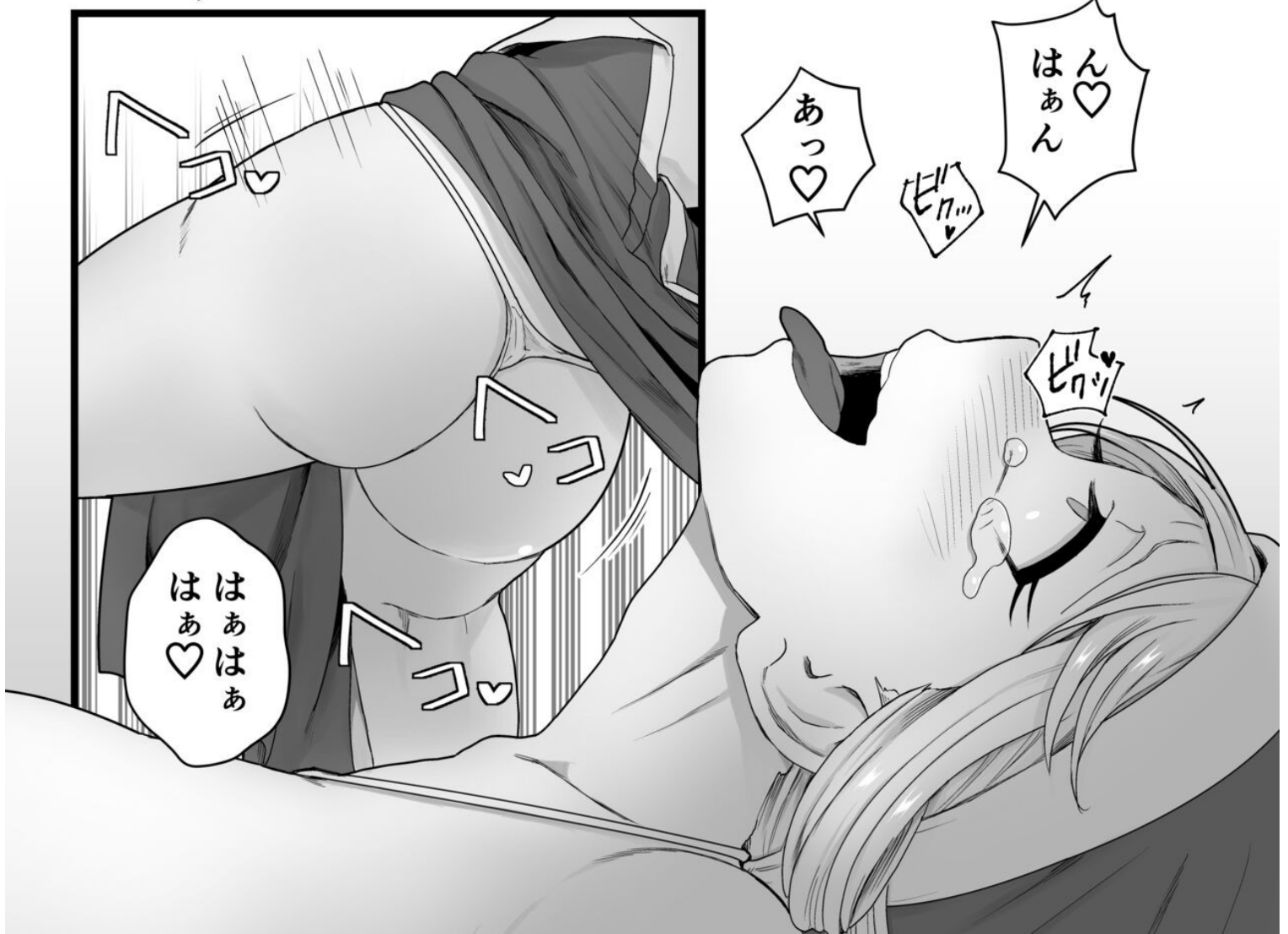
ムニニ
アァァァ

ああ…おいしい
力が満ちる…

こんなに
美味しいものが
この世にあった
なんて…

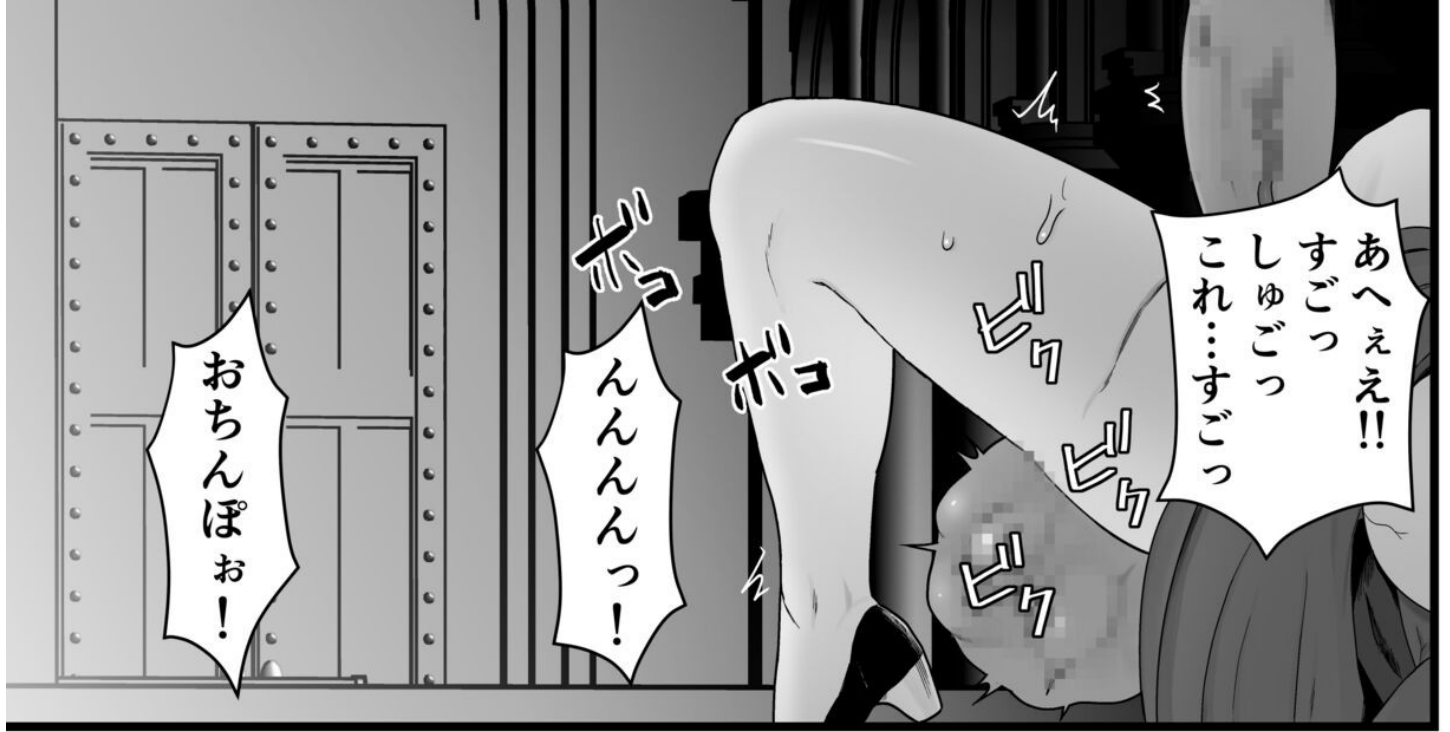
うううう!!
うぐぐぐ















シエスティア：
あなたの
思い人が今そこに

さあ
この地に増え
繁栄を…

あっへえええ!!



シエスティア!?



来ちゃ
だめえええ!

アニー!

シエスティア!?
大丈夫ですか!
そのお姿は
いったい?



繁殖する
のです…



さあ…早く





んほお

ははは

あなたが
悪いのよ!



あぐ♡
シエスティア!

一体…
何をっ!?

あッ
あ



私にこんな
近づいて!
媚びた雌の顔で
誘って!!♡

あぐ

んあああ!
ジエズ
ディアあ!

あッ

ハルハル

ボクッ

おねがい!
ごんなの
やめてえ!!

ぬ
ぬ
ぬ



んっへええええ
にやんでえ?♡♡
なんでちんぽ♡
きもちいのお!♡

はじめてなのに
きもちいい♡♡
いぐうう♡

もっと激しく
突き破る
ほどに

激しく腰を
振るのです…

あなたの力を…
存分に
振るうのです…



ぐん

ぐん

ぐんぐんぐん

ぐん

ぐん

ぶるん

ぶるん

ぐん



こんなに
啜え込んで…
孕んで
もらい
ますから!!



アニー!
あなた
ばっかり
イって!
どうい
うこと
です
この孕
み袋!?



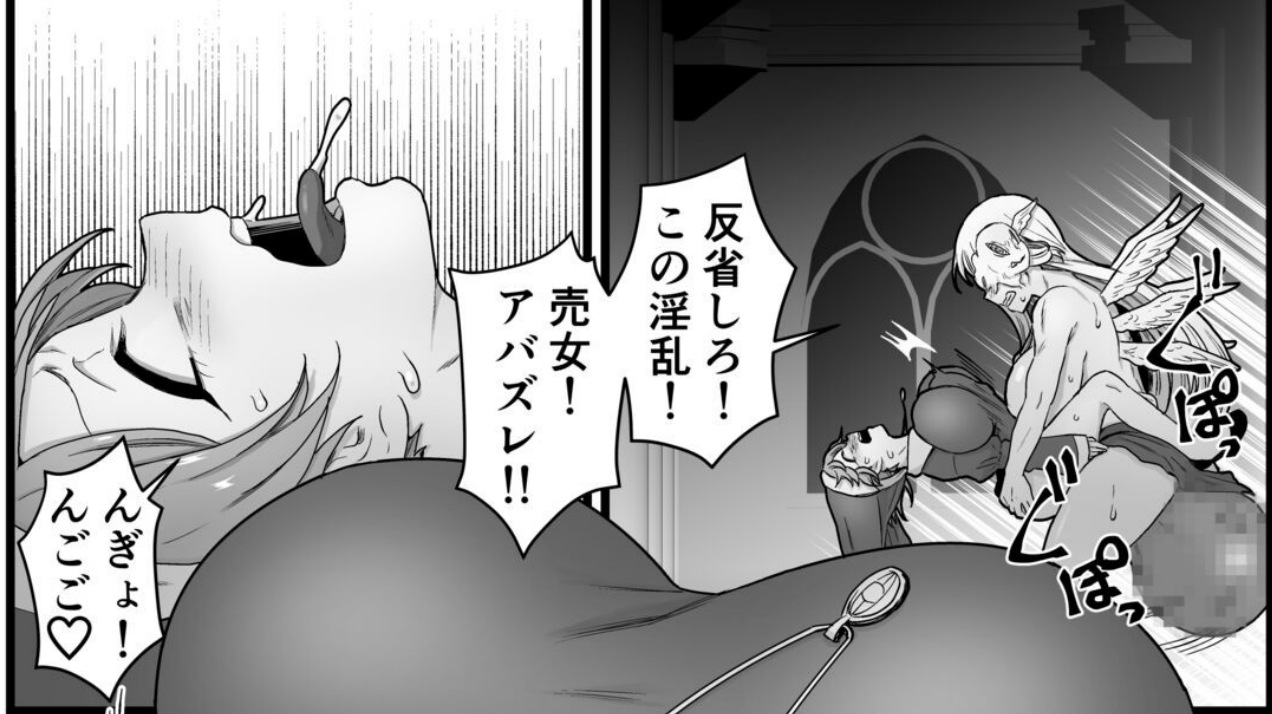
でっかいケツ揺らして
ムラムラの責任
とってください!

この!!
こいつ♡



孕め!!
アニー♡

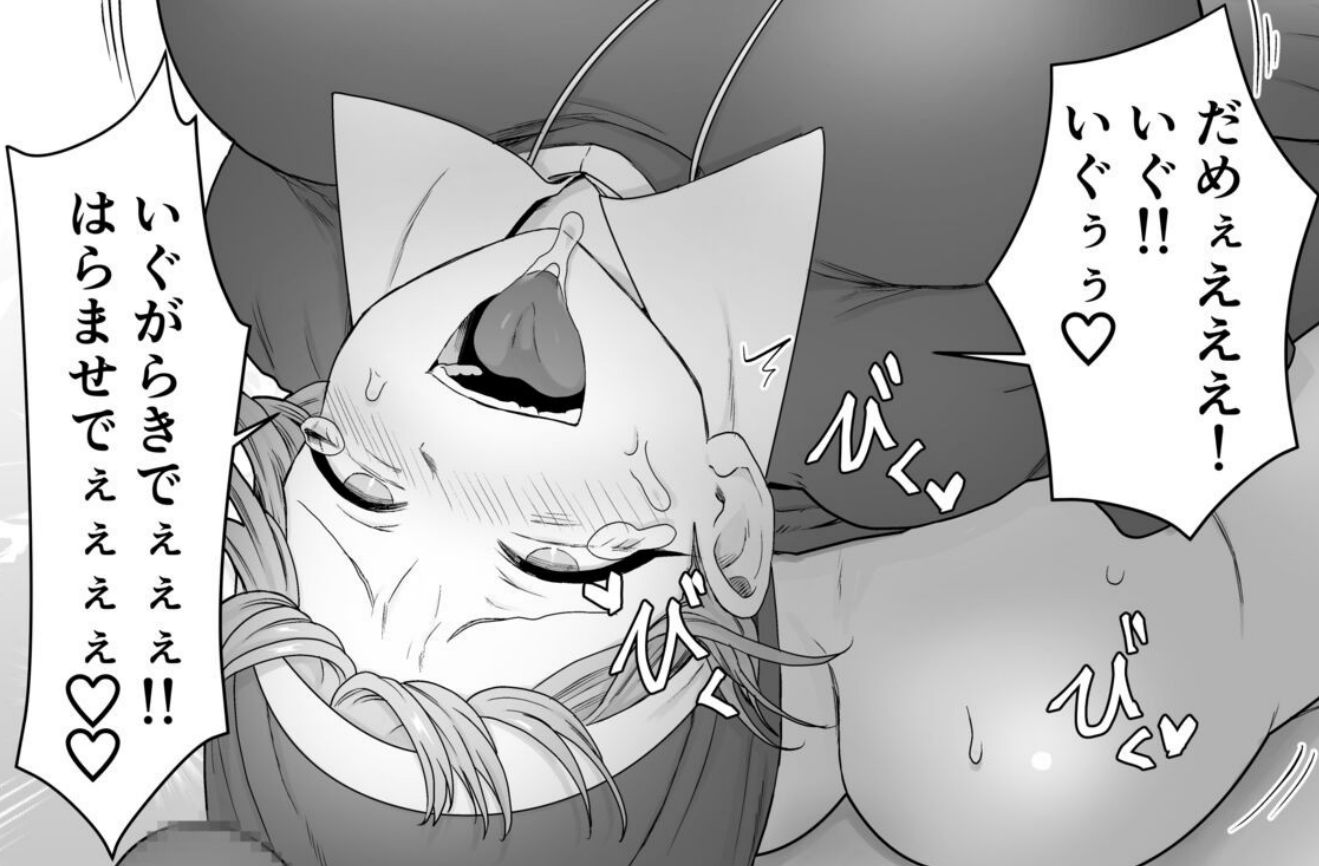
あああ
クッソ気持ちイイ!
ふぐりのイライラ
止まらない!



反省しろ！
この淫乱！

売女！
アバズレ！！

んぎよ！
んぎよ！
♡



だめええええ！
いぐ！！
いぐうう♡

いぐがらきでえええ！！
はらませでえええ♡♡



ぐううう！！

ズズ





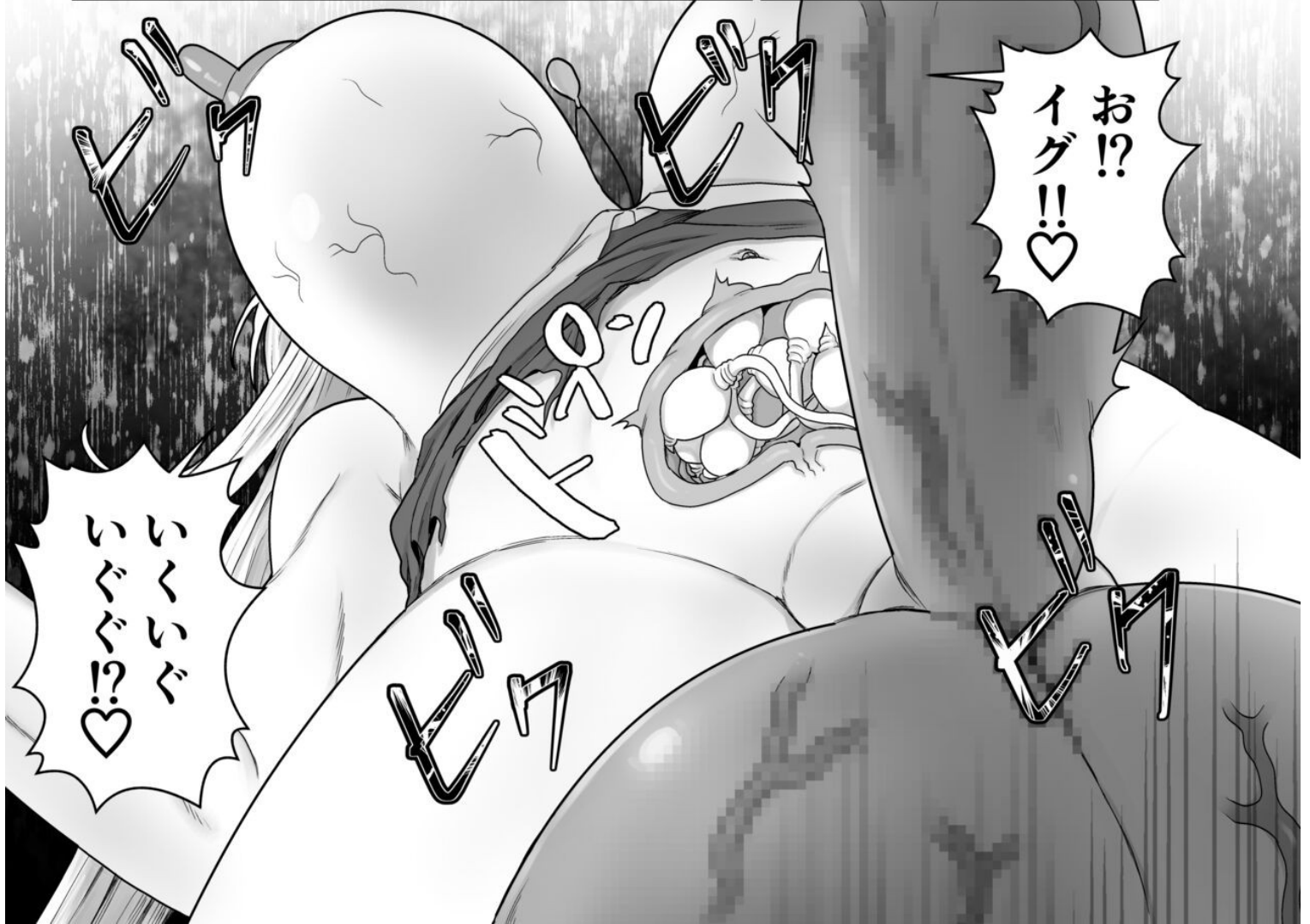
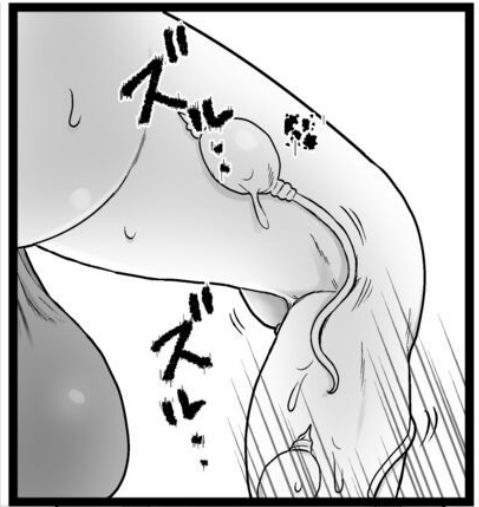
締めろ！
膣締めろおお！！♡

おおお！
また精子
登ってきた♡



ぐぐぐぐ
ががが
かはあ





クワッ
クワッ
クワッ

フホッ
フホッ
フホッ

ハッ

ハッ

ハッ

いっぐ



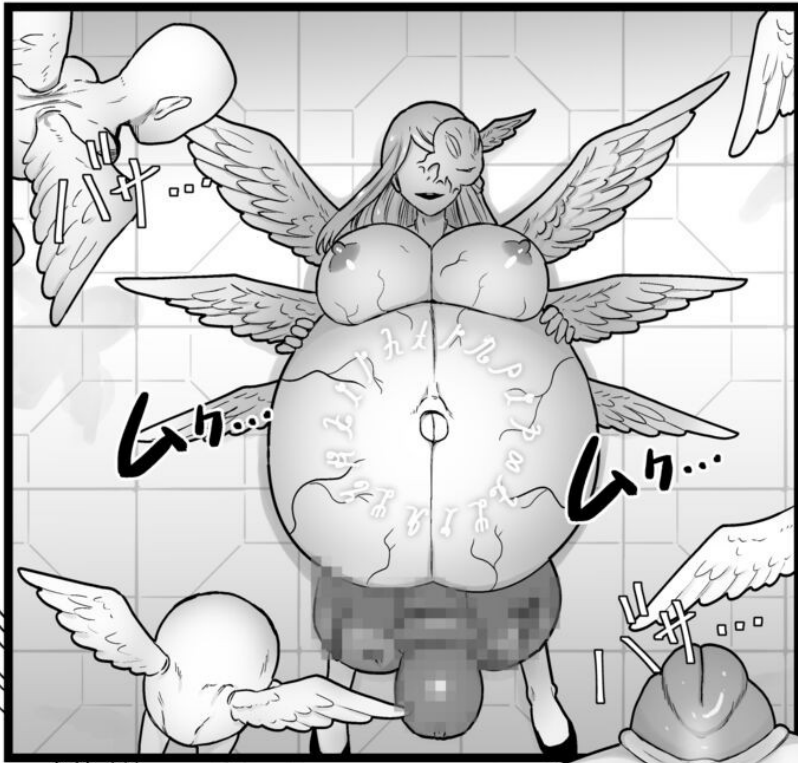
クワッ
クワッ

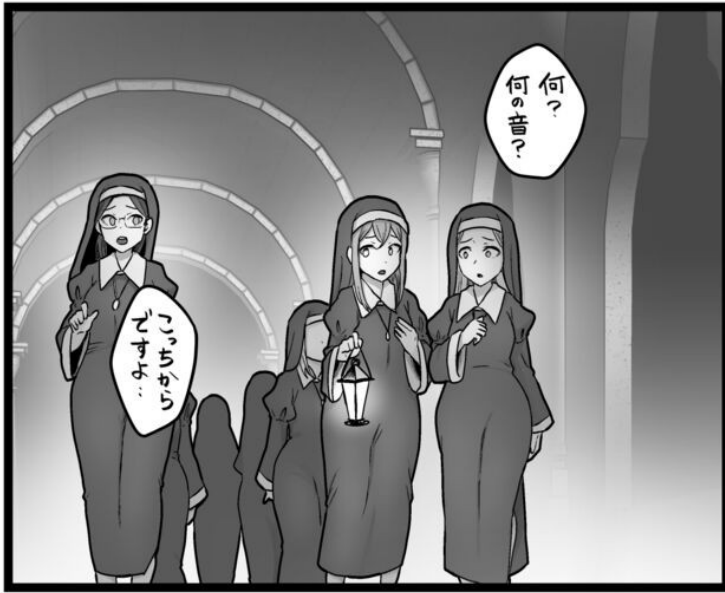
クワッ

ハッ
ハッ





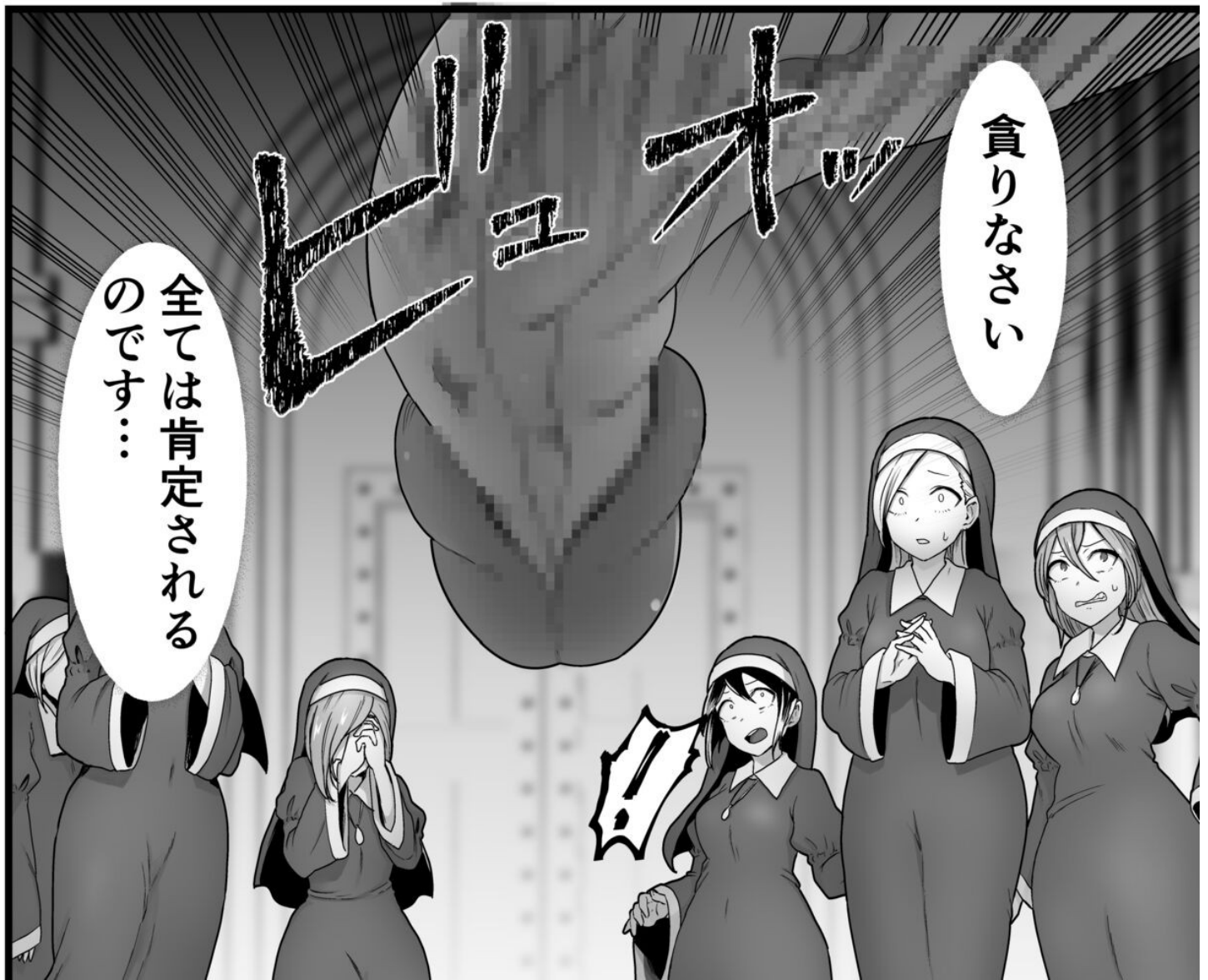


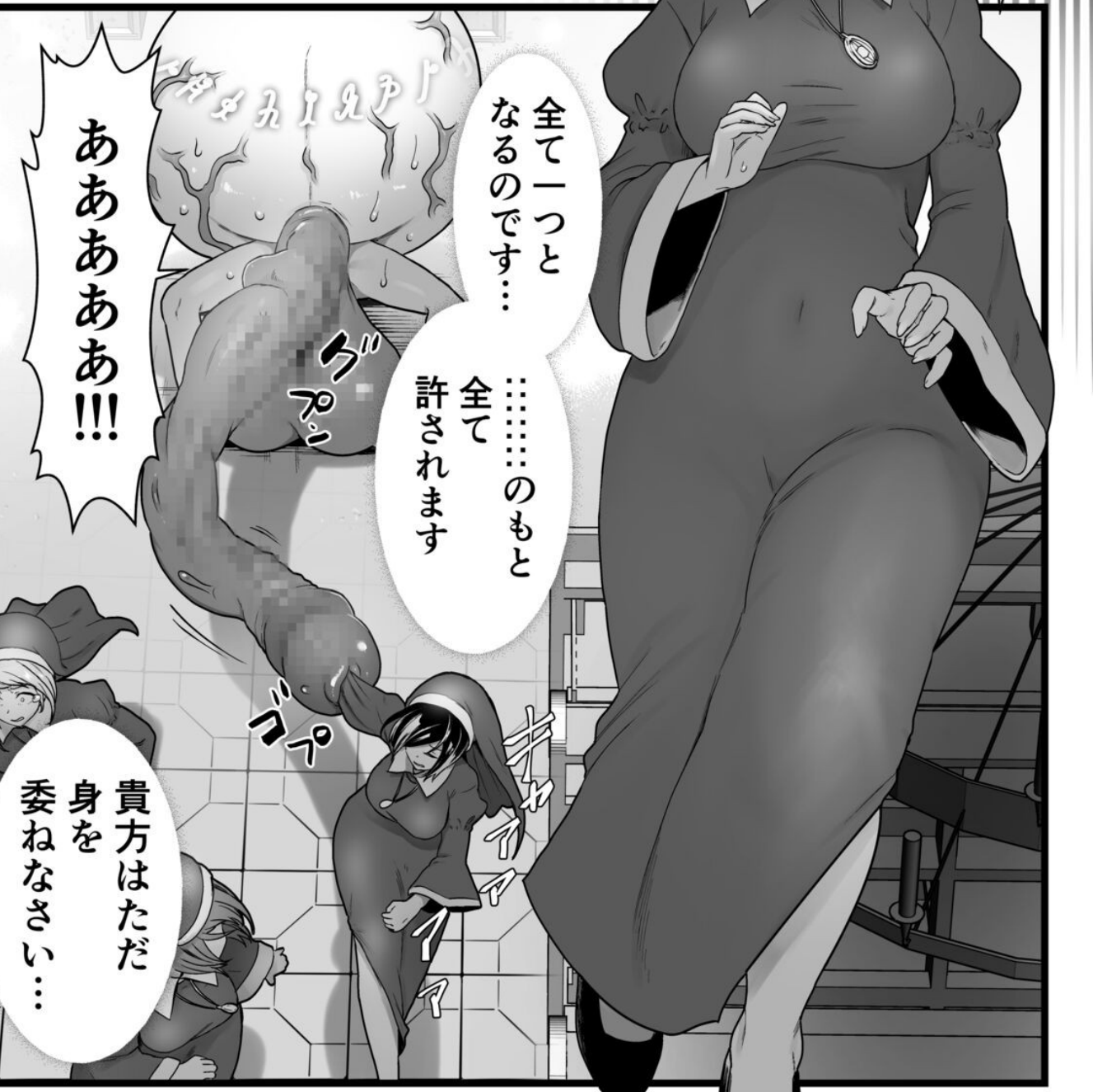


シエステティアよ：
それで
良いのです…

貴方達2人で
この地が増え
埋め尽くしなさい







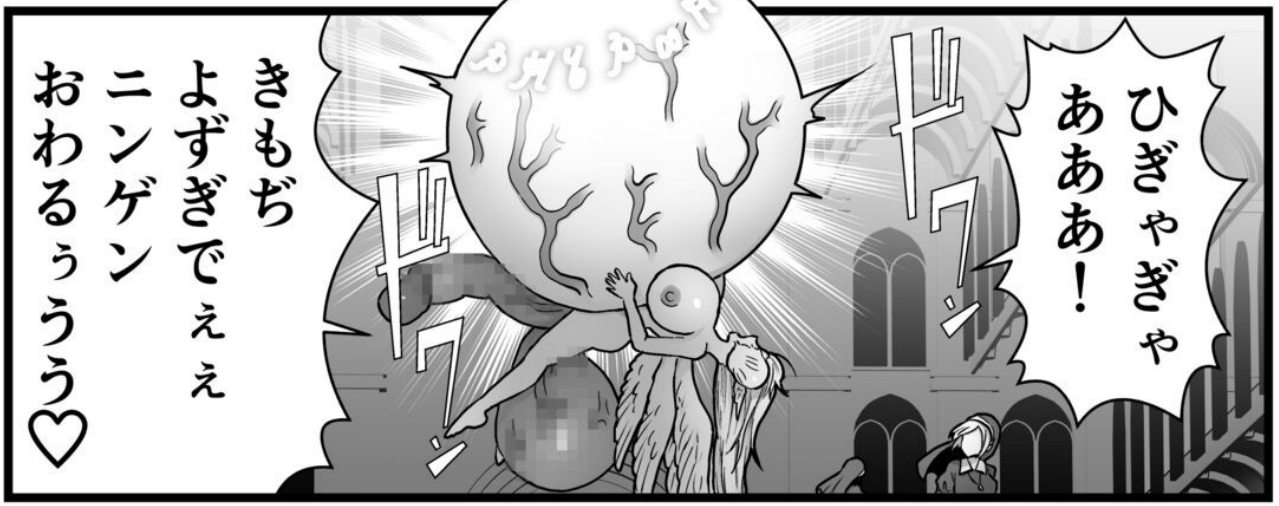




すっごい力が
ながれこんで
くるうう

うううう
うううう

ヒク
ヒク
ヒク



ひぎやぎや
あああ！

きもち
よすぎでええ
ニンゲン
おわるううう♡

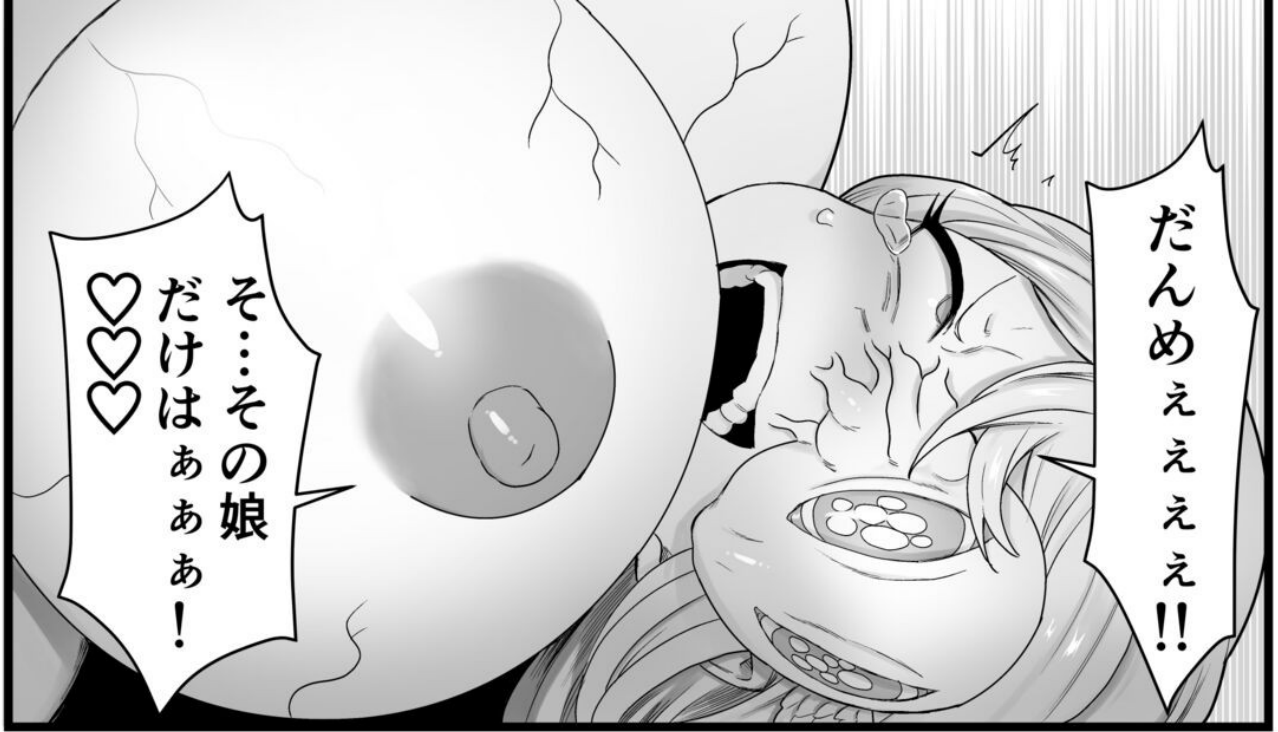


!?

ズズズ



ん



そ…その娘
だけはあああ!
♡♡♡

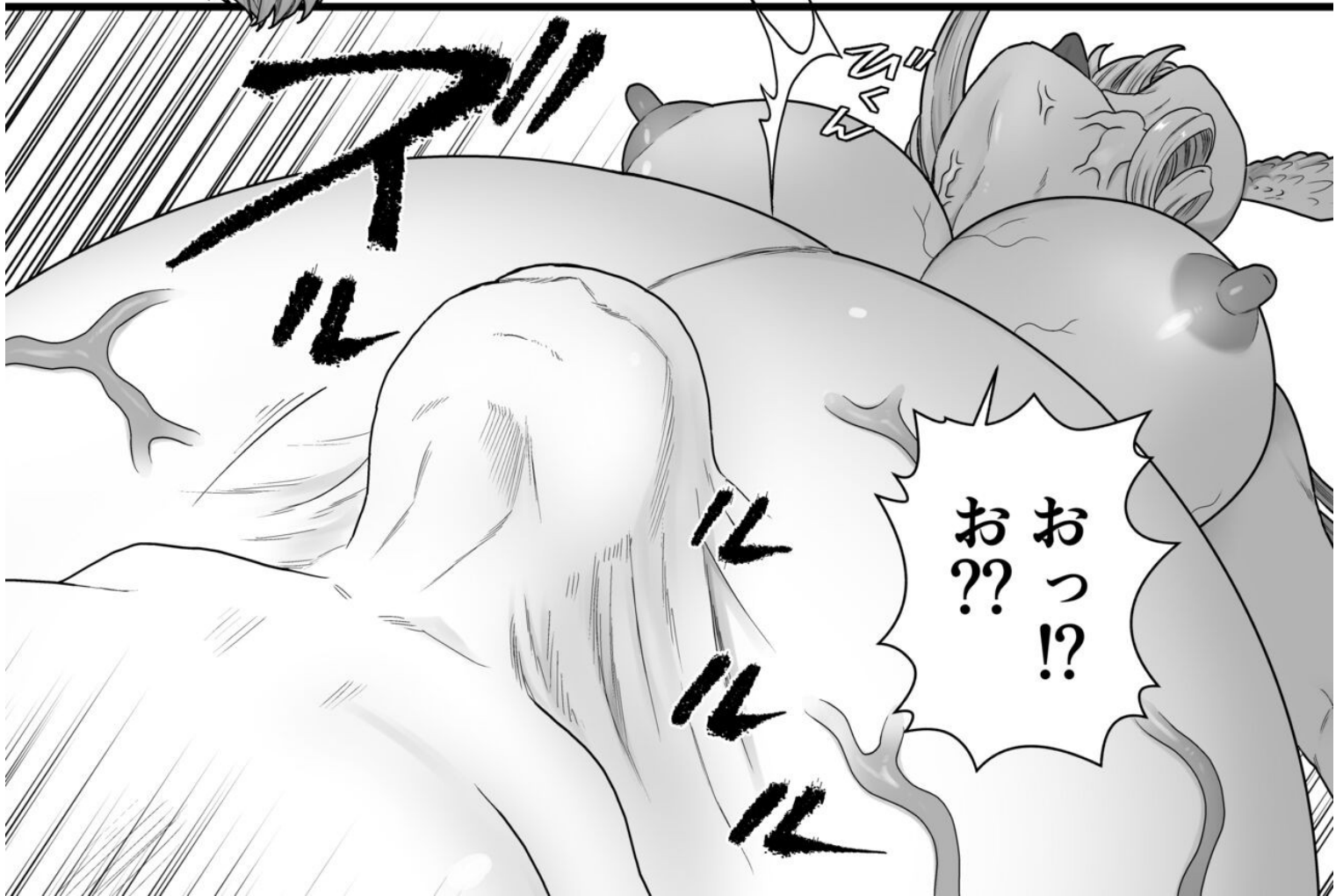
だんめええええ!!



グ
ゴ
ゴ

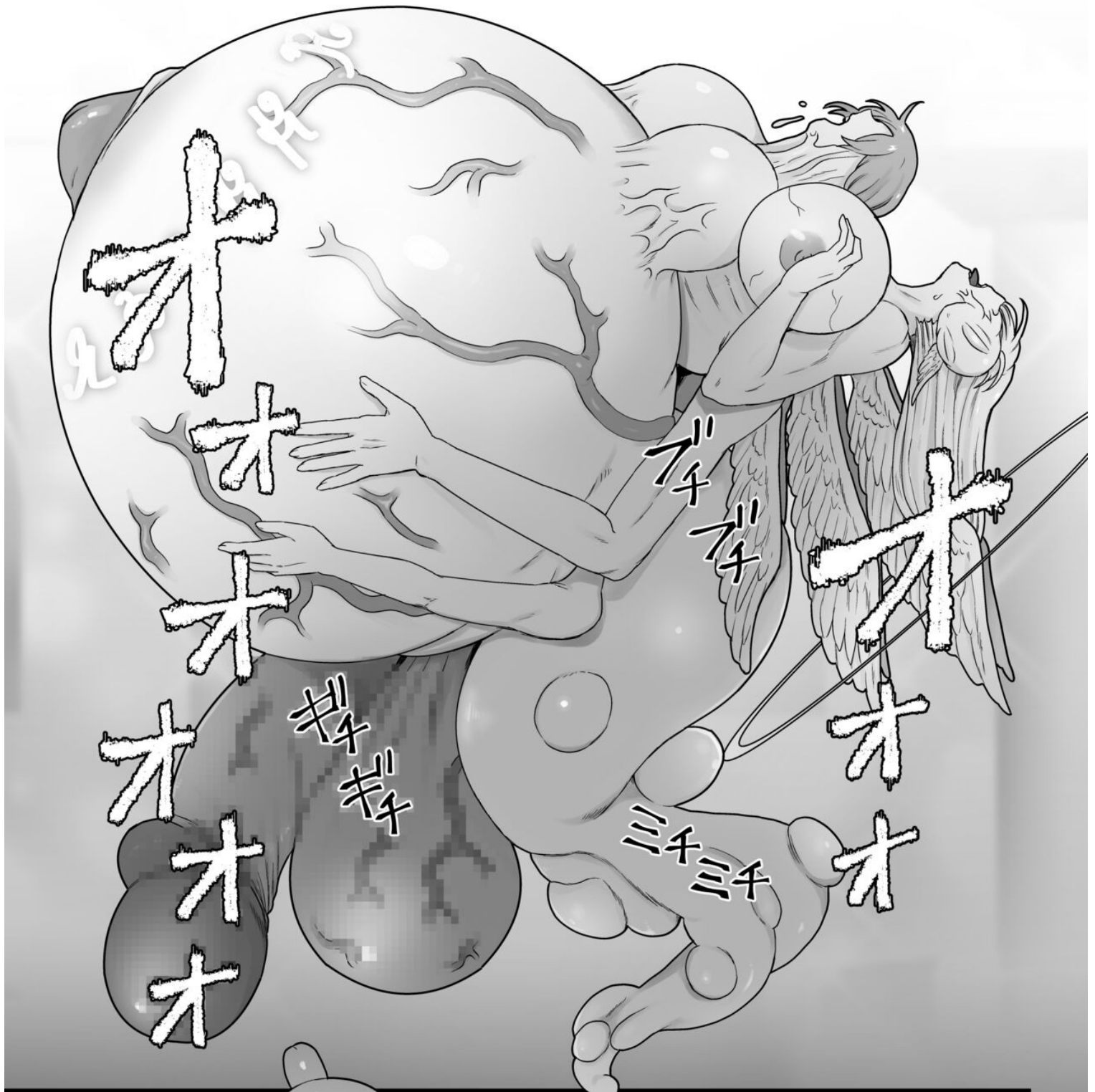


ク
ク
バン!!



ア
ル

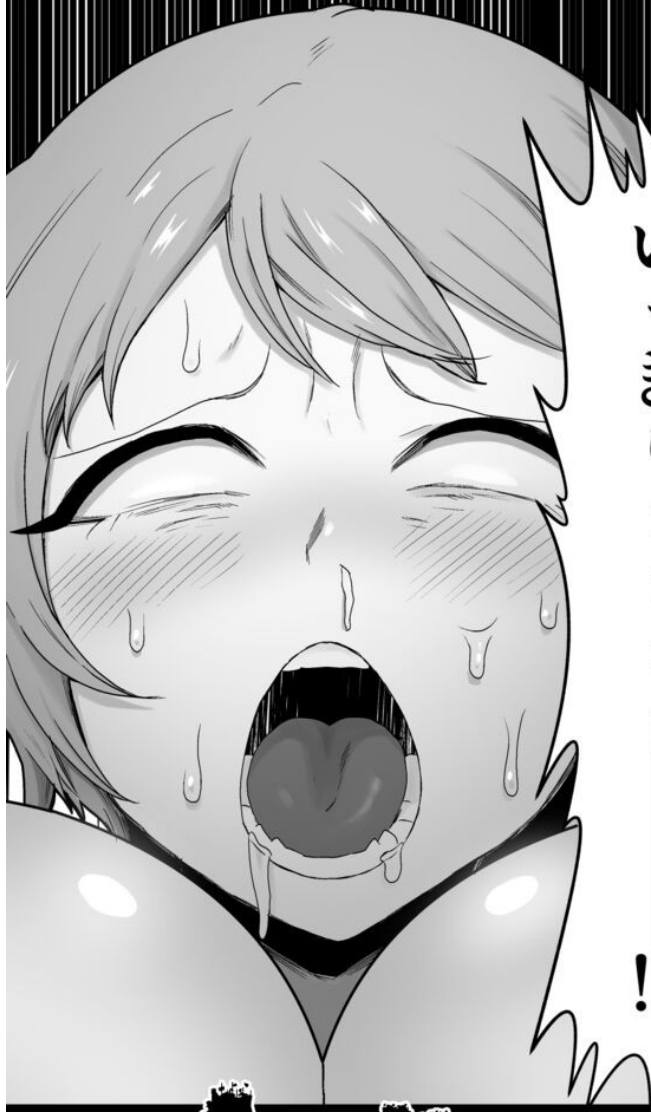
おっ!!
お??





あ
あ
あ

あ
あ
あ

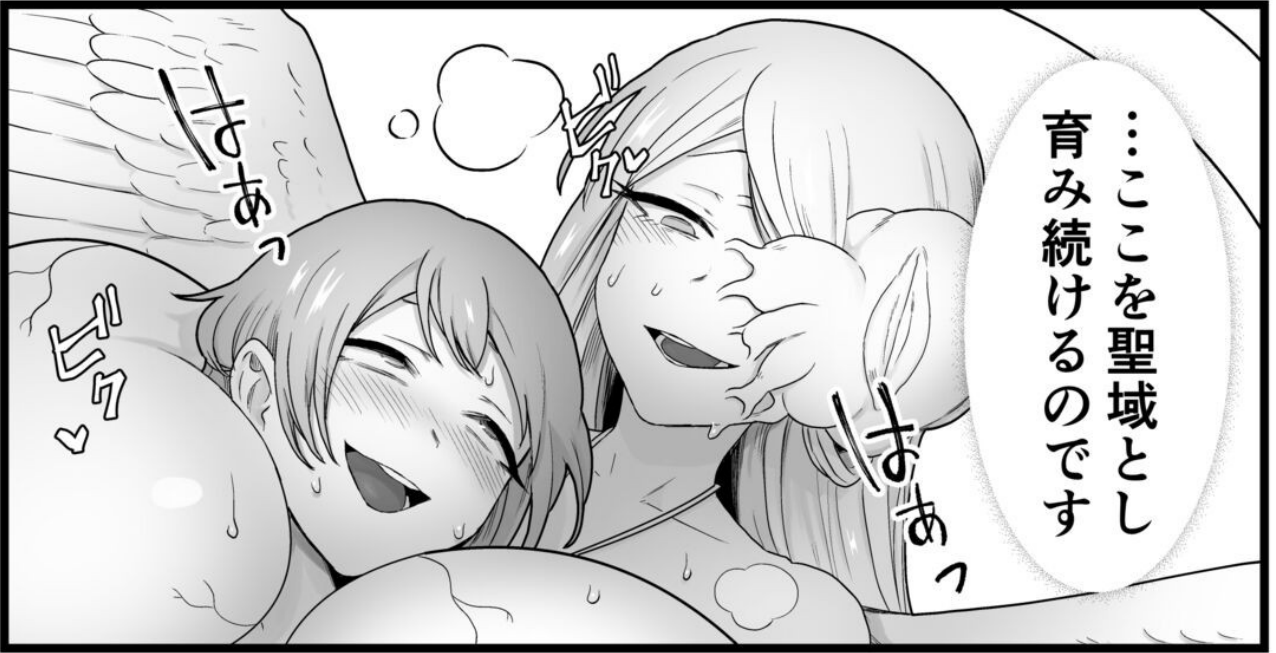
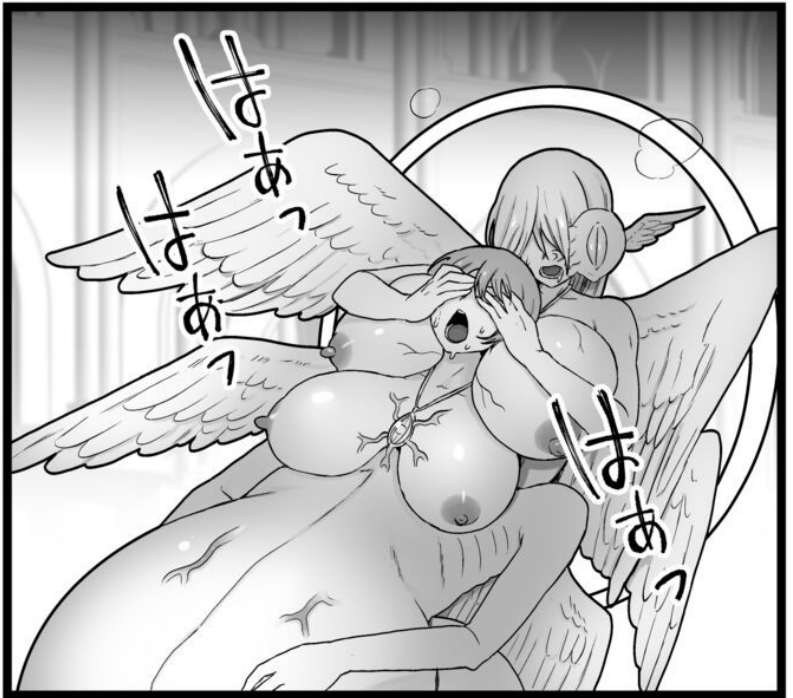


じえんぶ
いつぎゅううううう
!!!





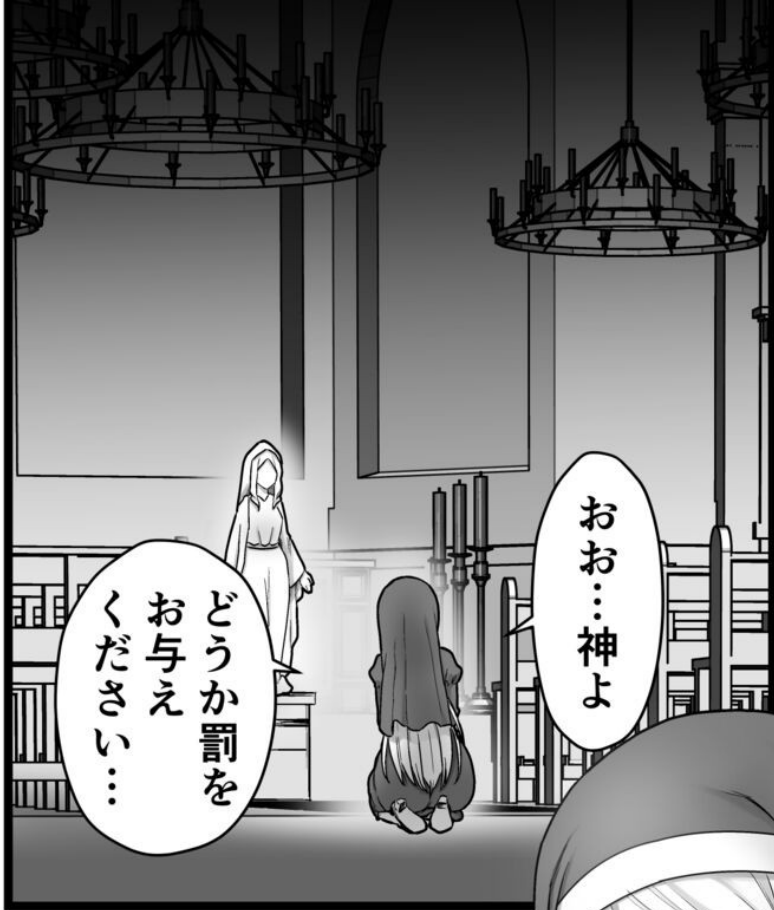
シエステティア：
アニー：
まだ足りません





寄生聖女

シエステイア



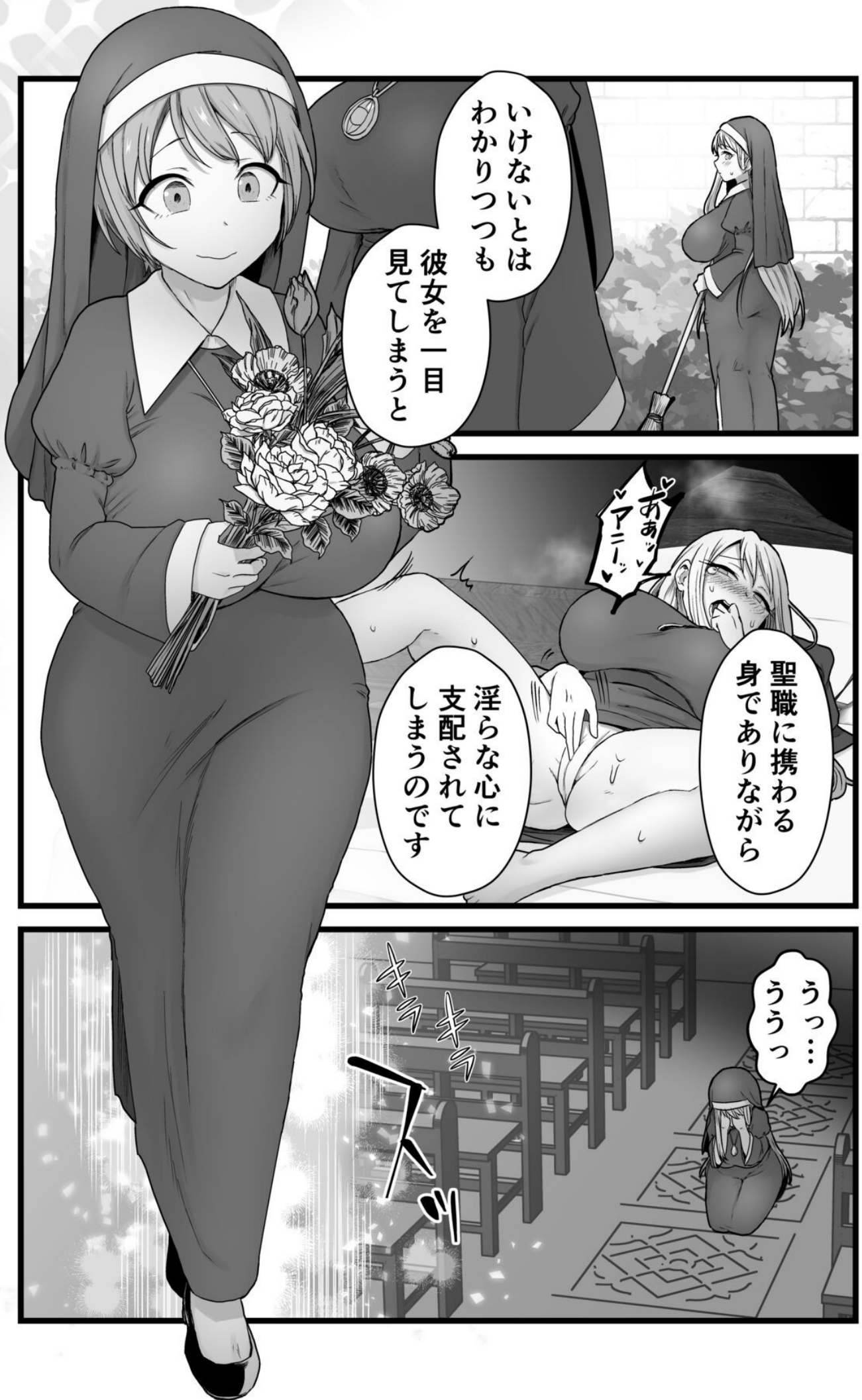
おお…神よ

どうか罰を
お与え
ください…



私は
親愛なる
後輩アニーを

劣情の元
心の内で
恥ずかしめ
ました



いけないとは
わかりつつも

彼女を一目
見てしまうと

聖職に携わる
身でありながら

淫らな心に
支配されて
しまうのです

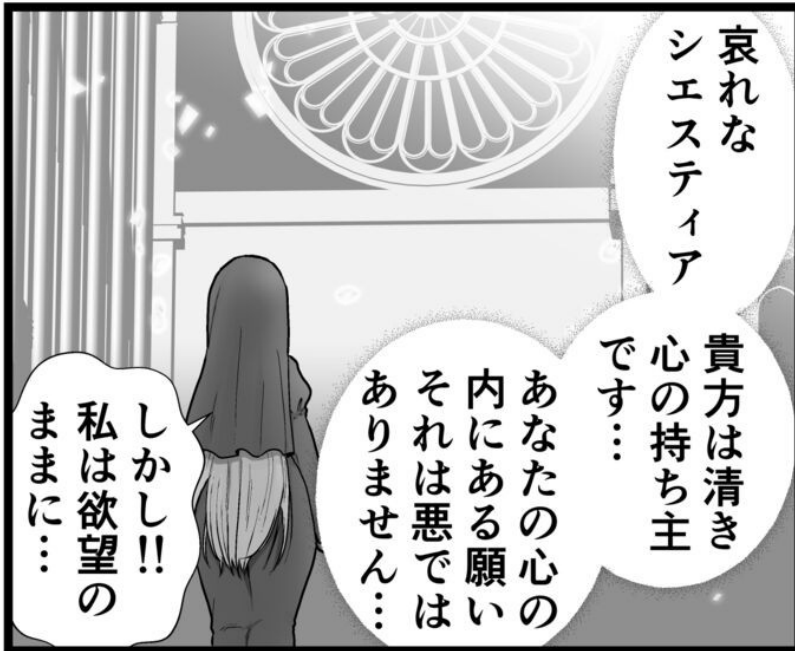
うっ…
うっ…
うっ…

キラキラ
キラキラ
キラキラ



ヒクッ
グッ

シエステティアよ…
聞こえますか？



哀れな
シエステティア

貴方は清き
心の持ち主
です…

あなたの心の
内にある願い
それは悪では
ありません…

しかし!!
私は欲望の
ままに…



今あなたの
脳内に
直接語り
かけています

あなたは！
神ですか!?



全てを
受け入れる
のです…

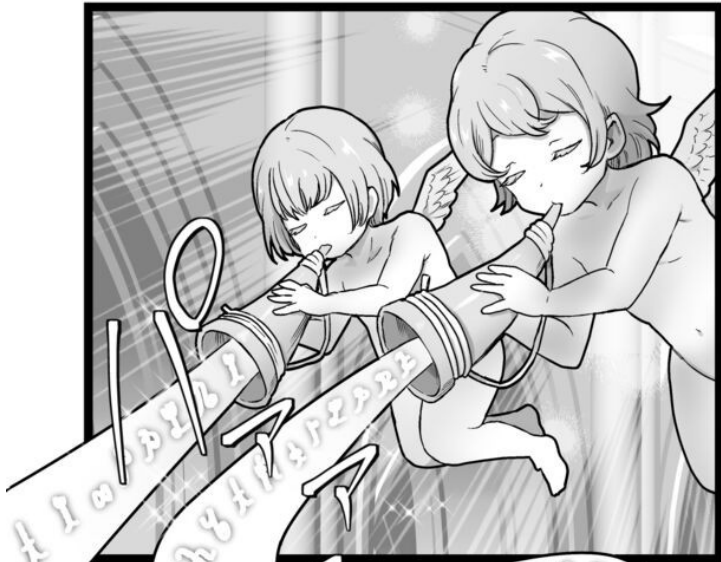


シエステティアよ…
全て受け入れる
のです…

善か悪かなど
所詮は人の子らが
作った基準に
過ぎません…

貴方に
素晴らしい
力を授け
ましょう…

えっ？





ギチギチ
ギチ

あっ♡

ズズ

はあん♡

ズズ

はへえ♡

ハハハ

ズズ



気持ちが
よいでしょう？

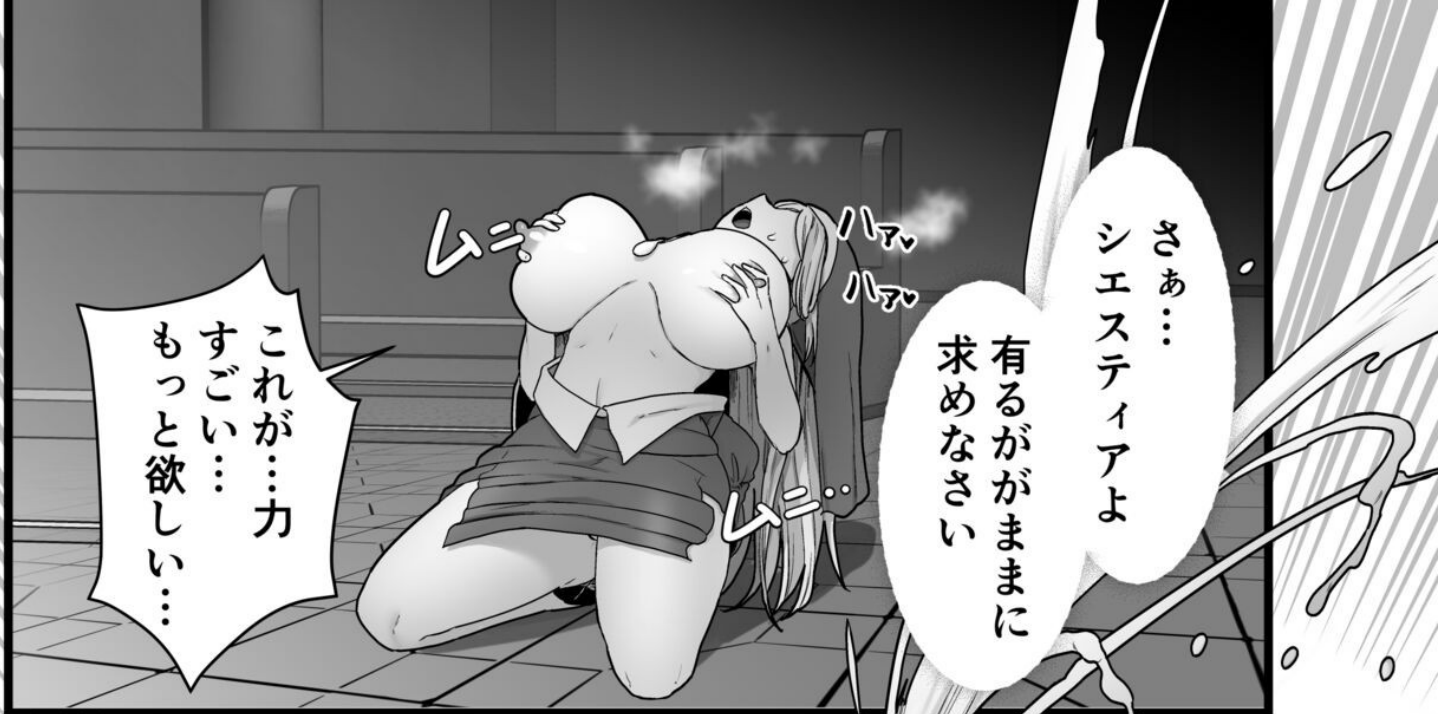
人間が知る
感覚など
ほんのわずかに
すぎません



人の尺度など
その程度
なのです

いひい!!!
んほおおおっ♡♡♡

♡♡♡



これが…力
すごい…
もっと欲しい…

有るががままに
求めなさい

さあ…
シエスティアよ



欲しい!

もっと…



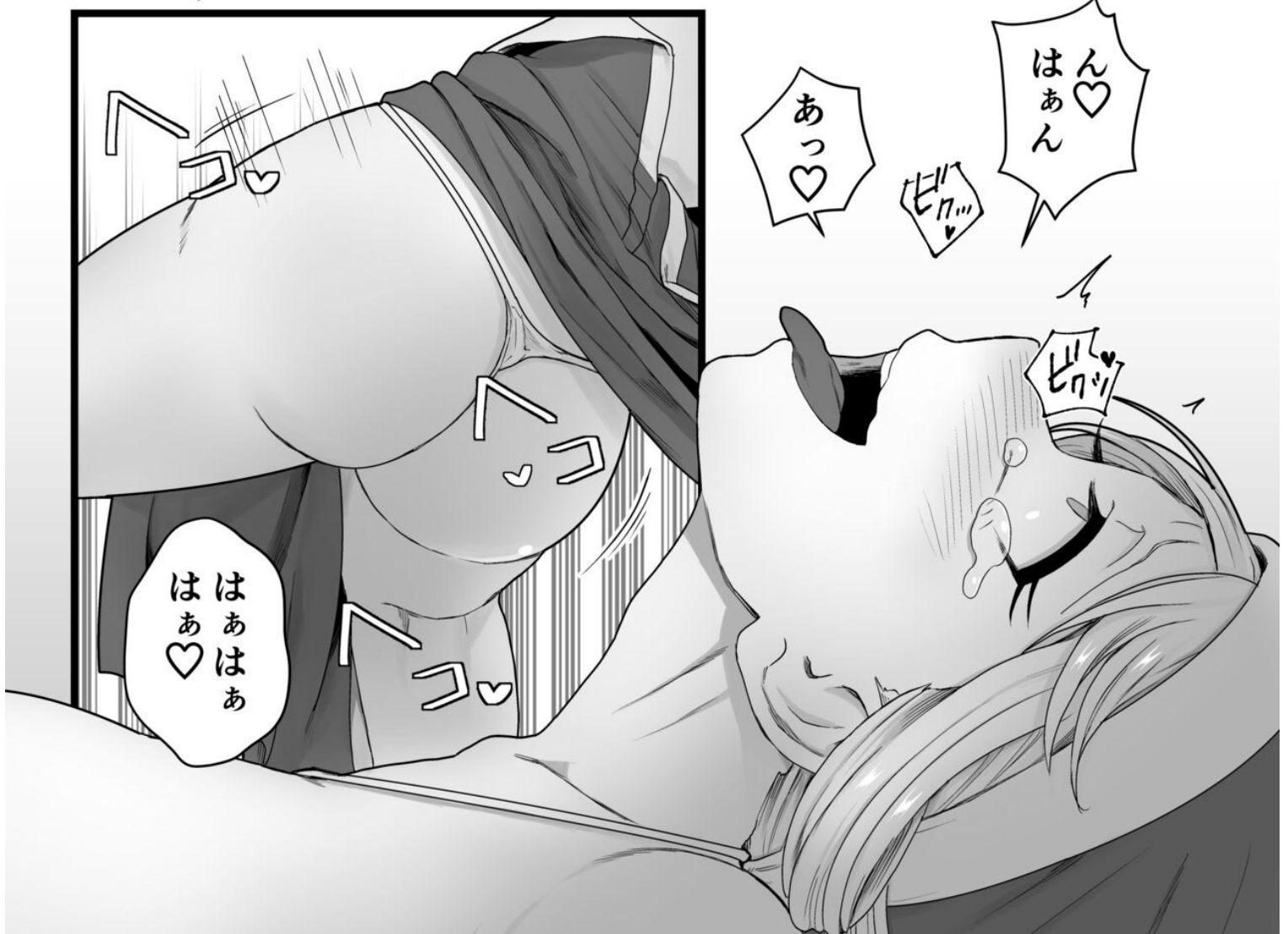
♡♡♡♡
あああっ

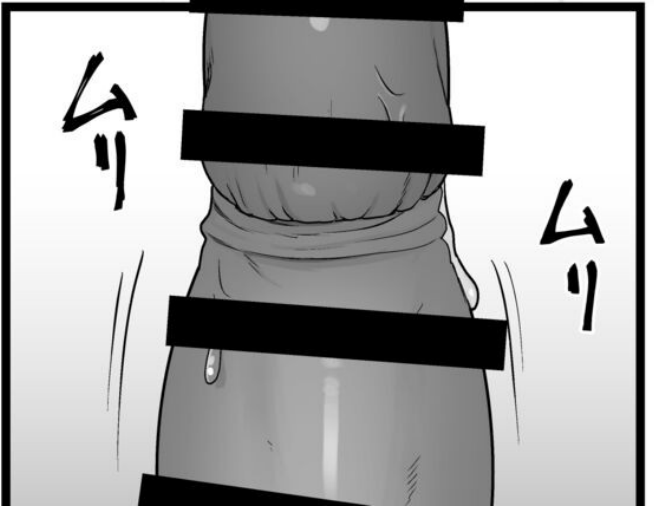
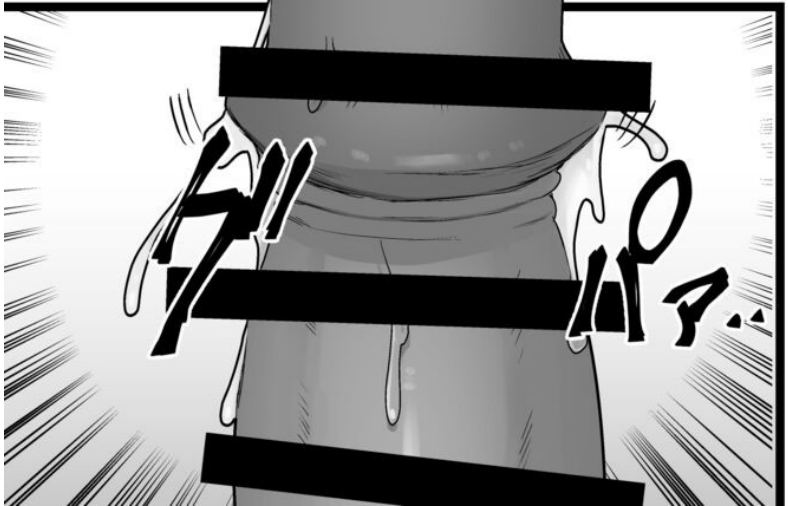
ああ…おいしい
力が満ちる…

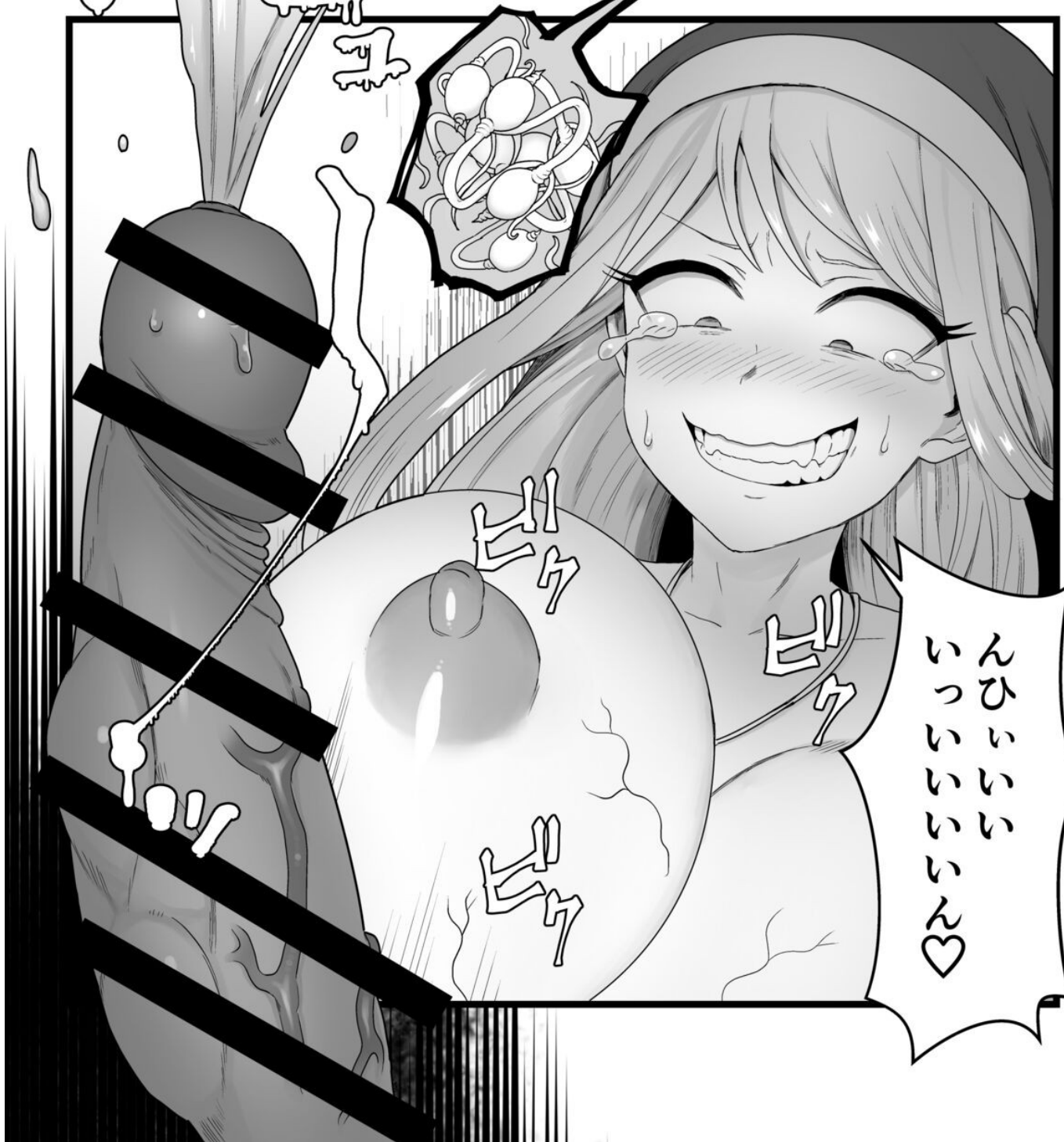
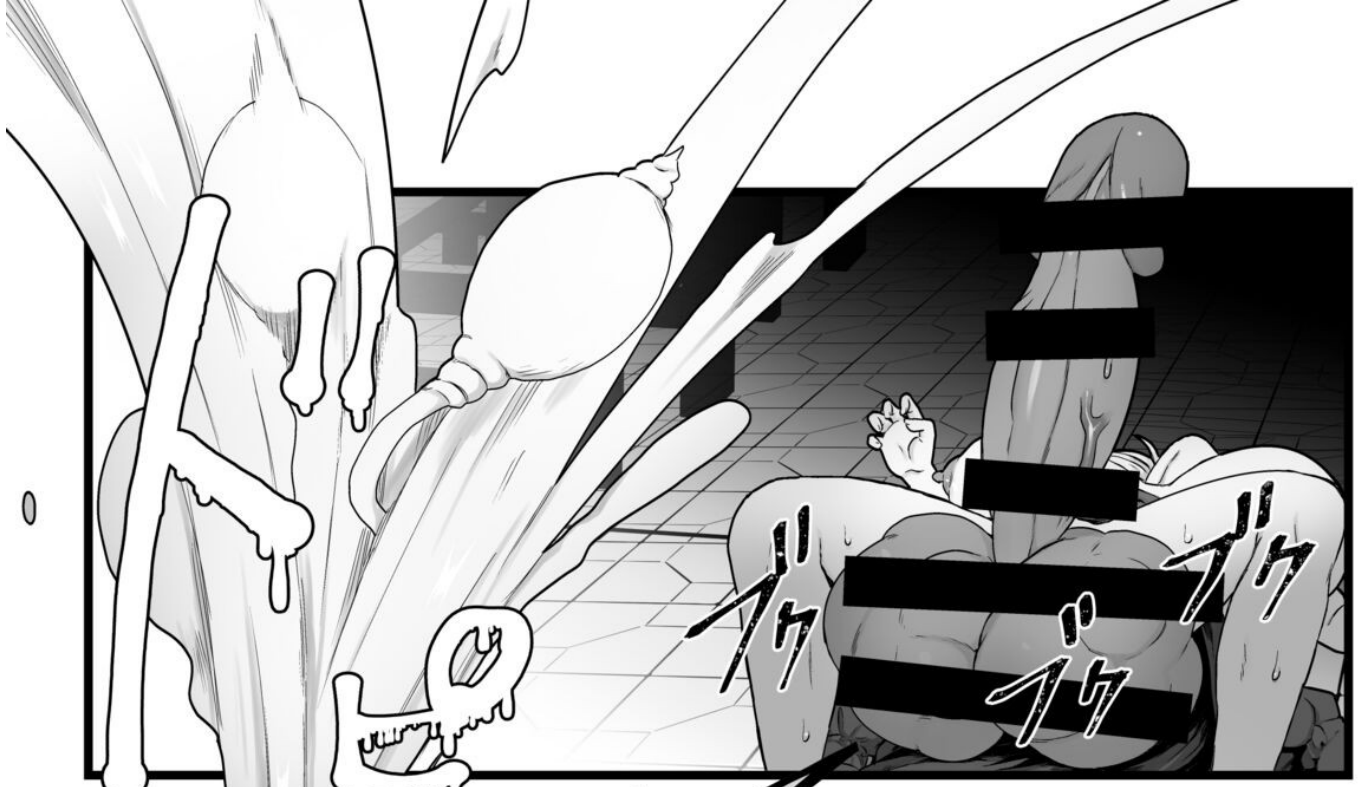
こんなに
美味しいものが
この世にあった
なんて…

うううう!!
うぐぐぐ

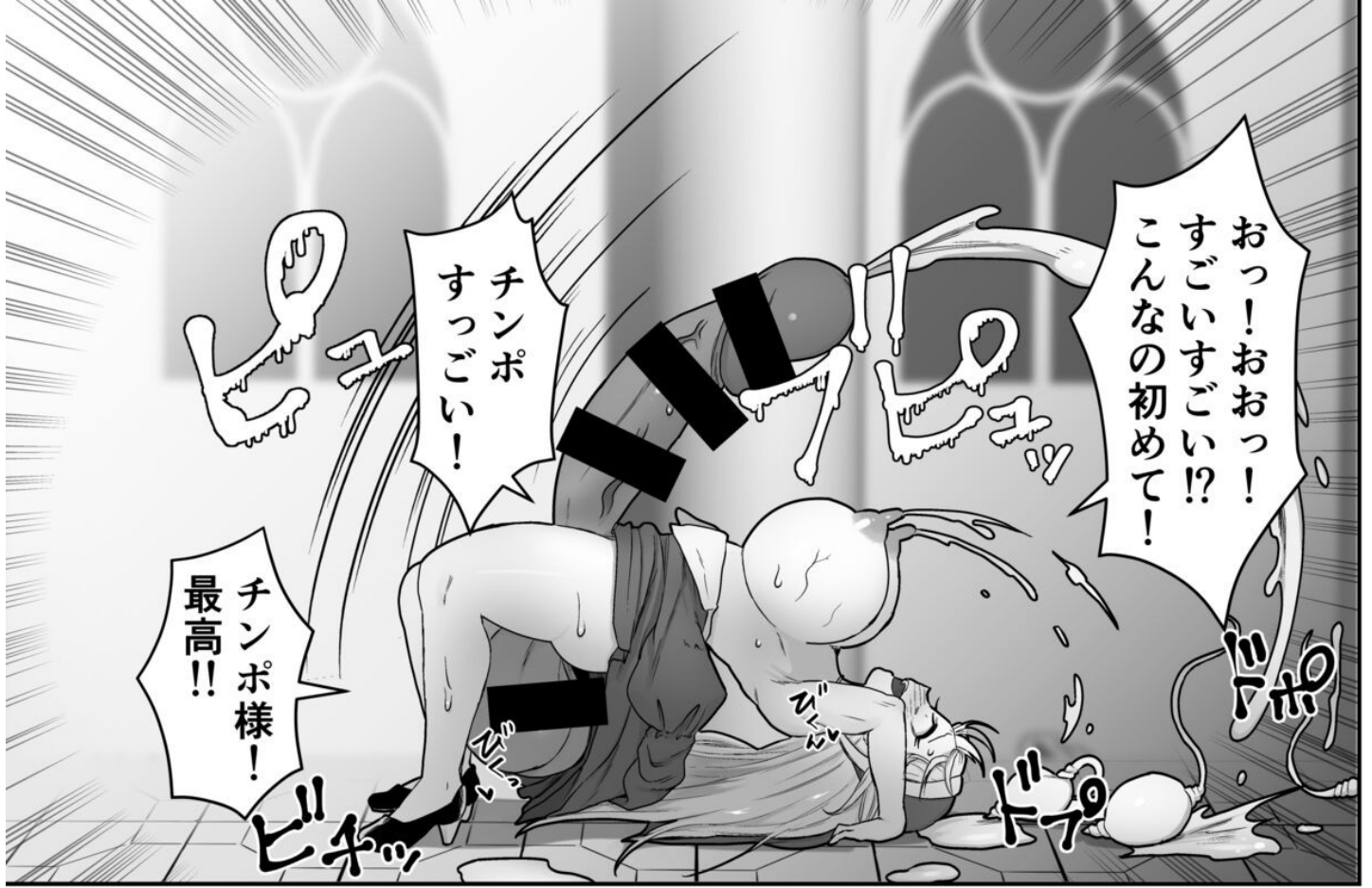








んひいひい
いっひいひい♡



チンポ様!
最高!!

チンポ
すっごい!

おっ! おおっ!
すごいすごい!?
こんなの初めて!

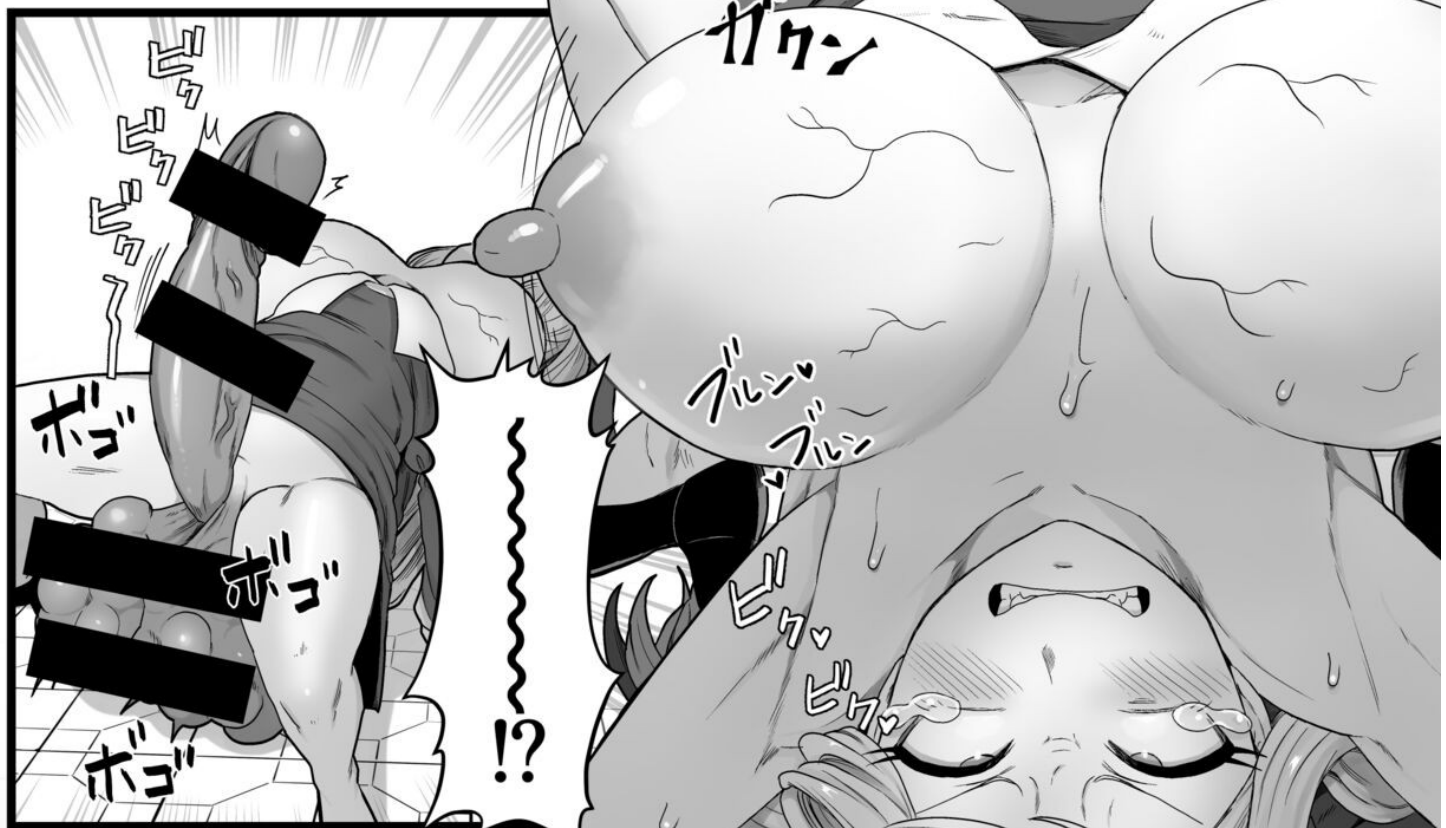
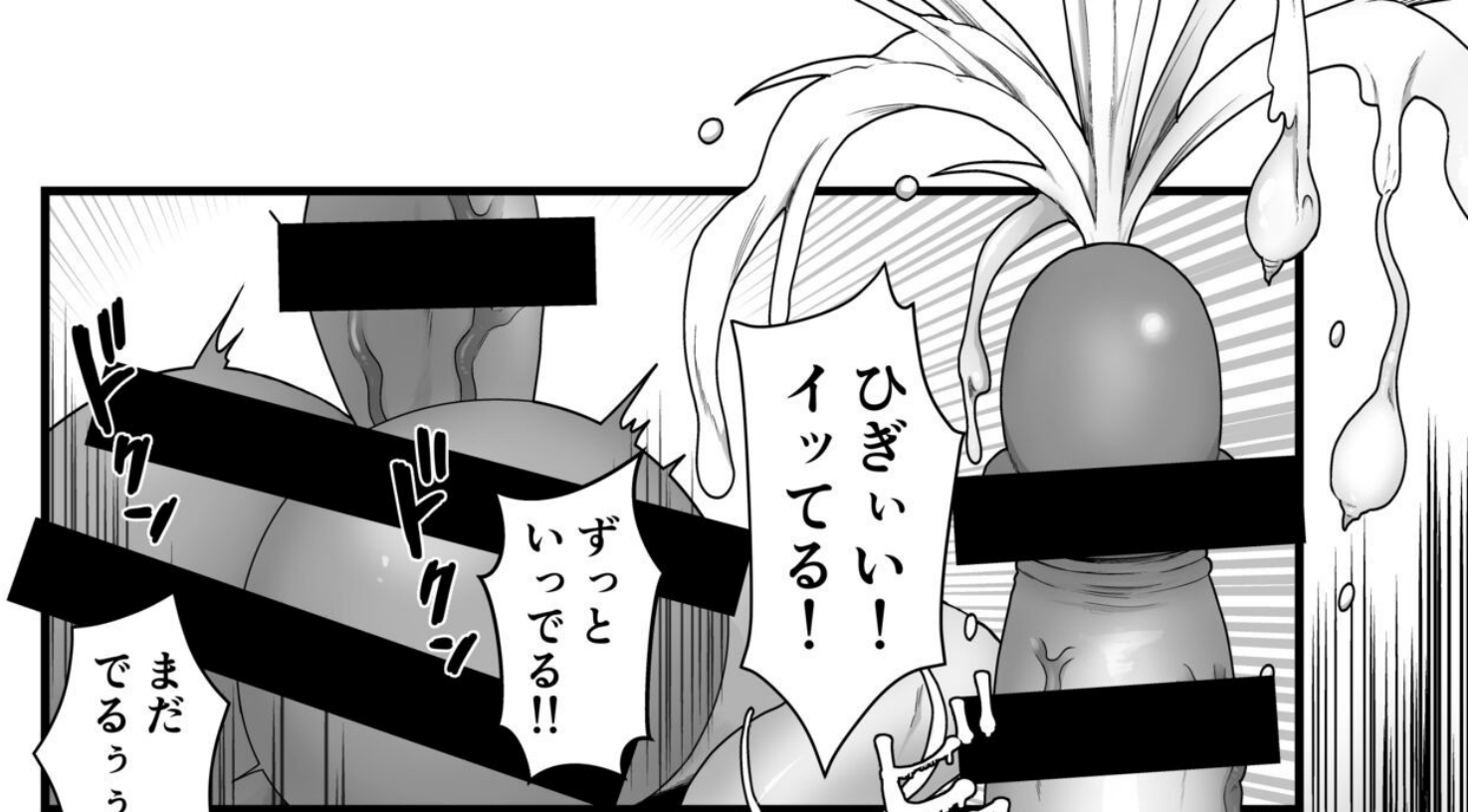


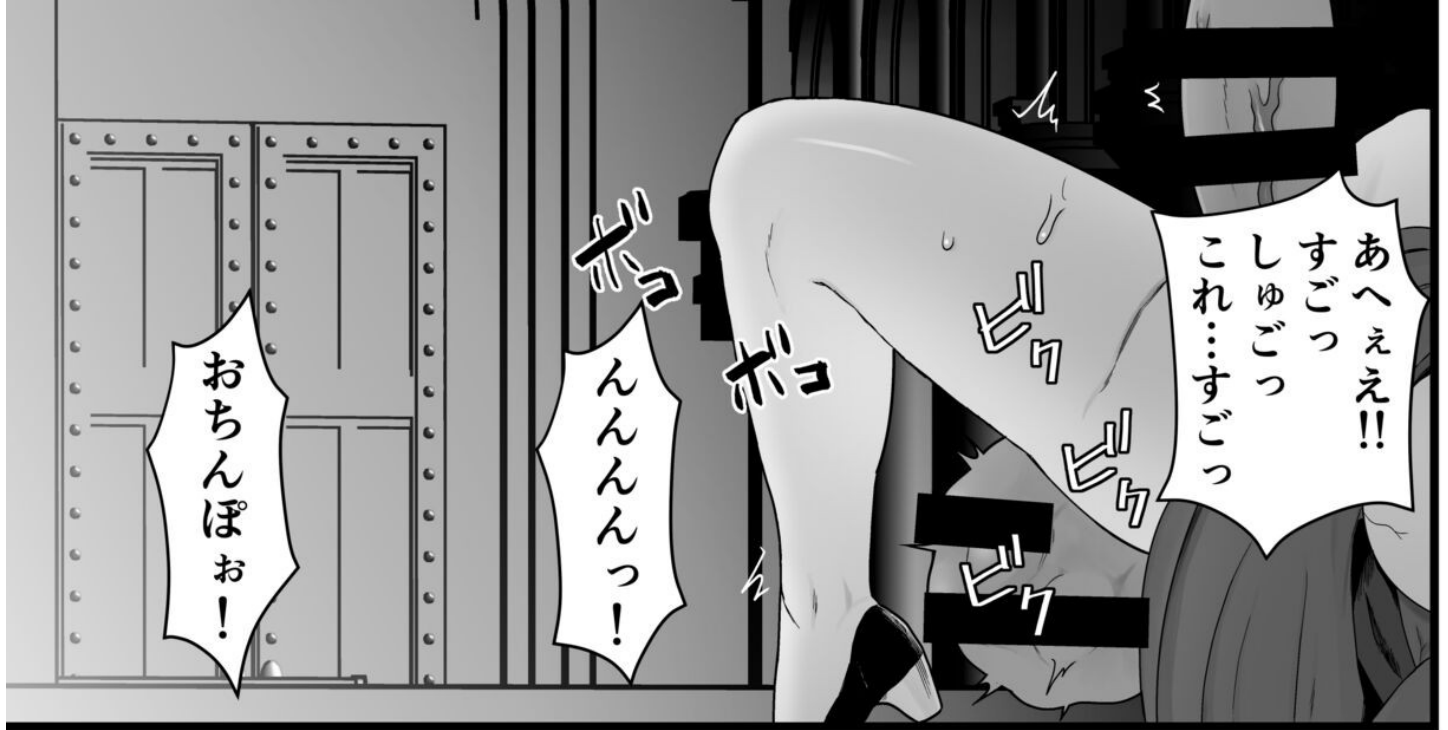
イグウウウツ!!



男って
ズルい!!
こんなの
付けてるなんて
気が狂いそう♡

あっ♡
あん♡♡
イクツ









シエスティア：
あなたの
思い人が今そこに

さあ
この地に加え
繁栄を…

あつへえええ!!



シエスティア!?

…ひっ!



来ちゃ
だめえええ!

アニー!

シエスティア!?
大丈夫ですか!
そのお姿は
いったい?

タッ
ッ



繁殖する
のです



さあ…早く





んほお

ははは

あなたが悪いのよ!



あぐ♡
シエステイア!

一体...
何をっ!?

あッ
あ



あぐ

んあああ!
ジエズ
ダイヤあ!

私にこんなに
近づいて!
媚びた雌の顔で
誘って!!♡

あッ

ハルハル

ボクッ

おねがい!
ごんなの
やめてえ!!

ゆ
ゆ

ゆ

三



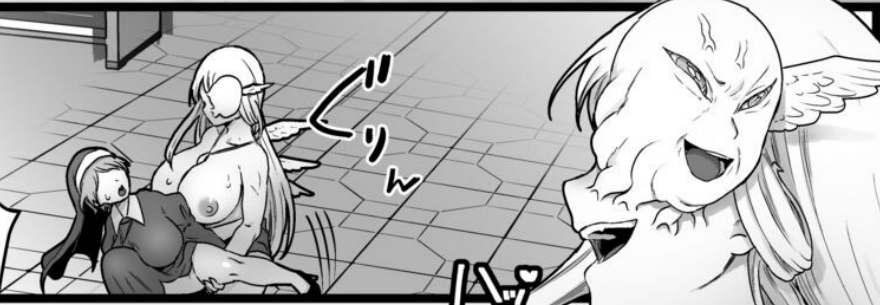
んっへええええ
にやんでえ?♡♡
なんでちんぽ♡
きもちいのお!♡

はじめてなの
きもちいい♡♡
いぐうう♡

もっと激しく
突き破る
ほどに

激しく腰を
振るのです…

あなたの力を…
存分に
振るうのです…



は
は

は
は

は
は

は
は

は
は

は
は

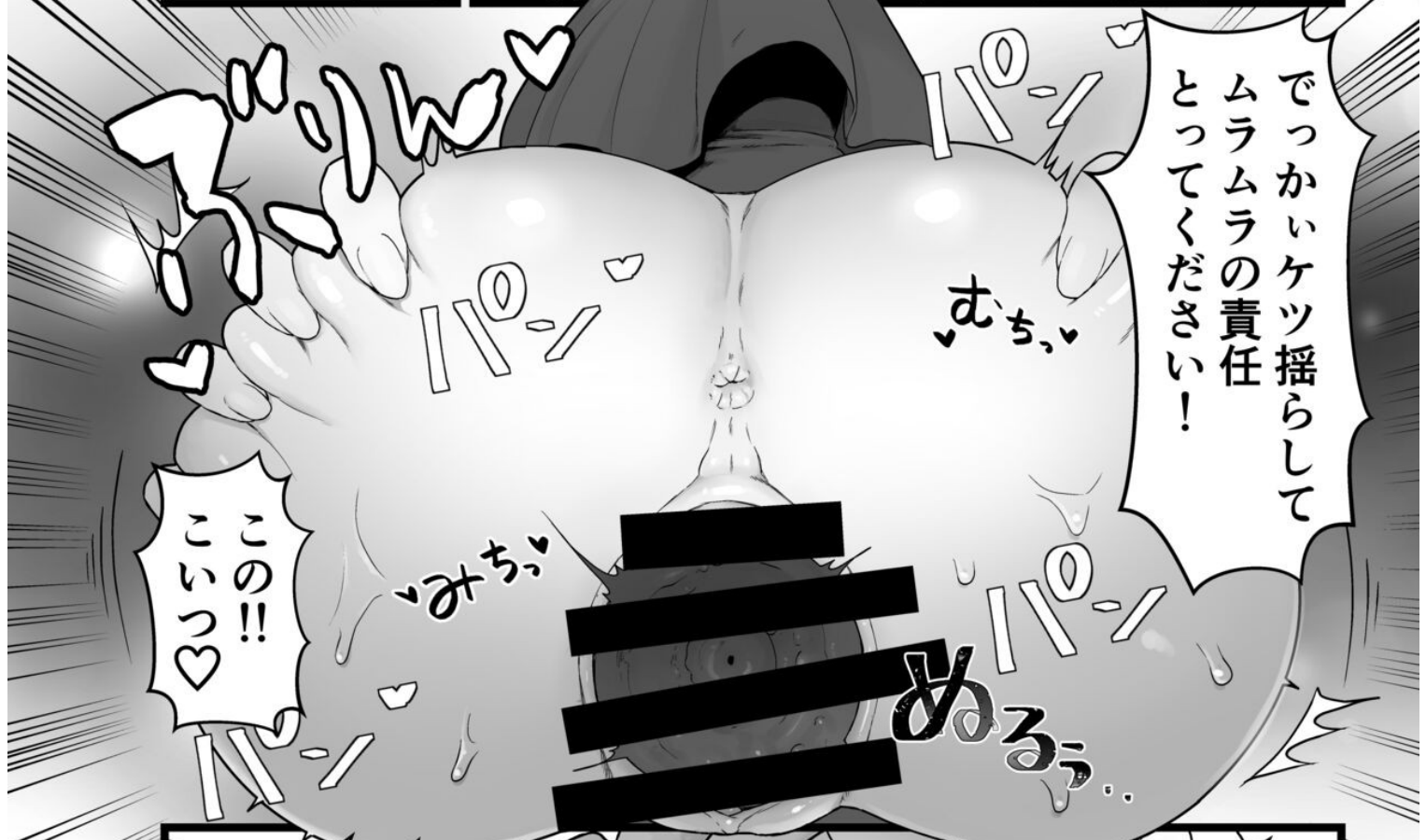
は
は



こんなに
啜え込んで…
孕んで
もらい
ますから!!



アニー!
あなた
ばっかり
イって!
どうい
うこと
です
この孕
み袋!?



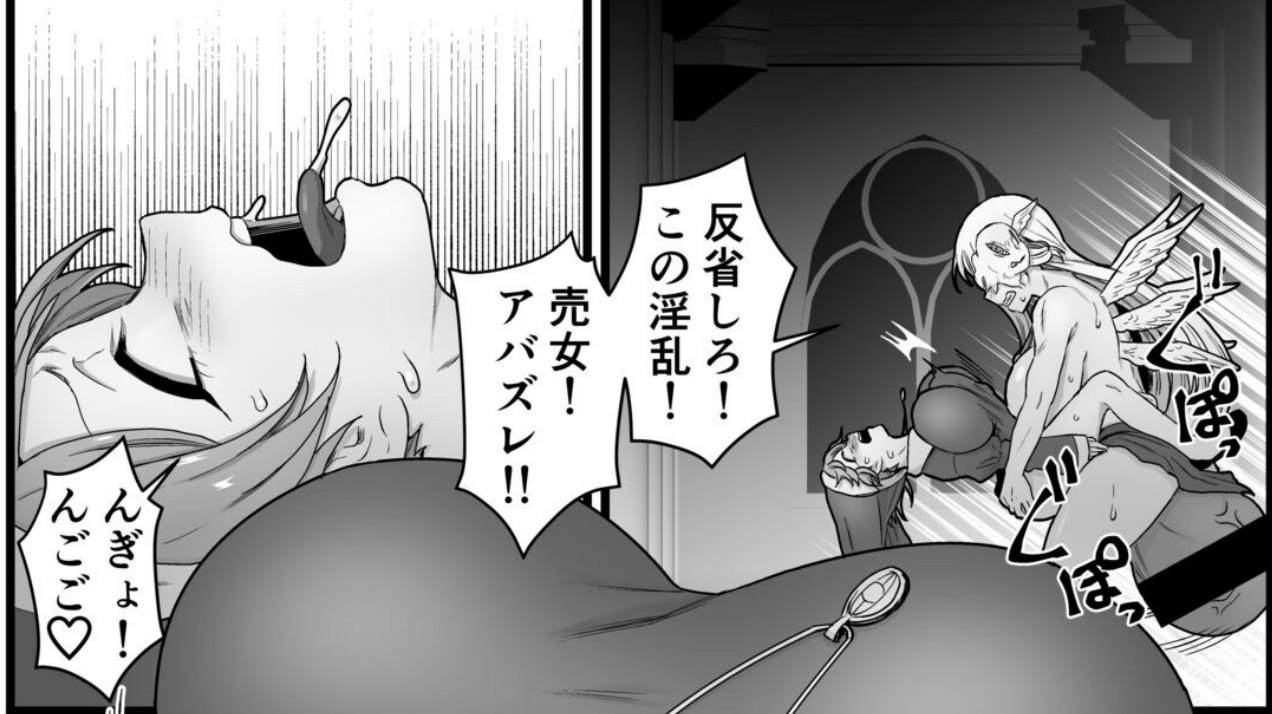
でっかいケツ揺らして
ムラムラの責任
とってください!

この!!
こいつ♡



孕め!!
アニー♡

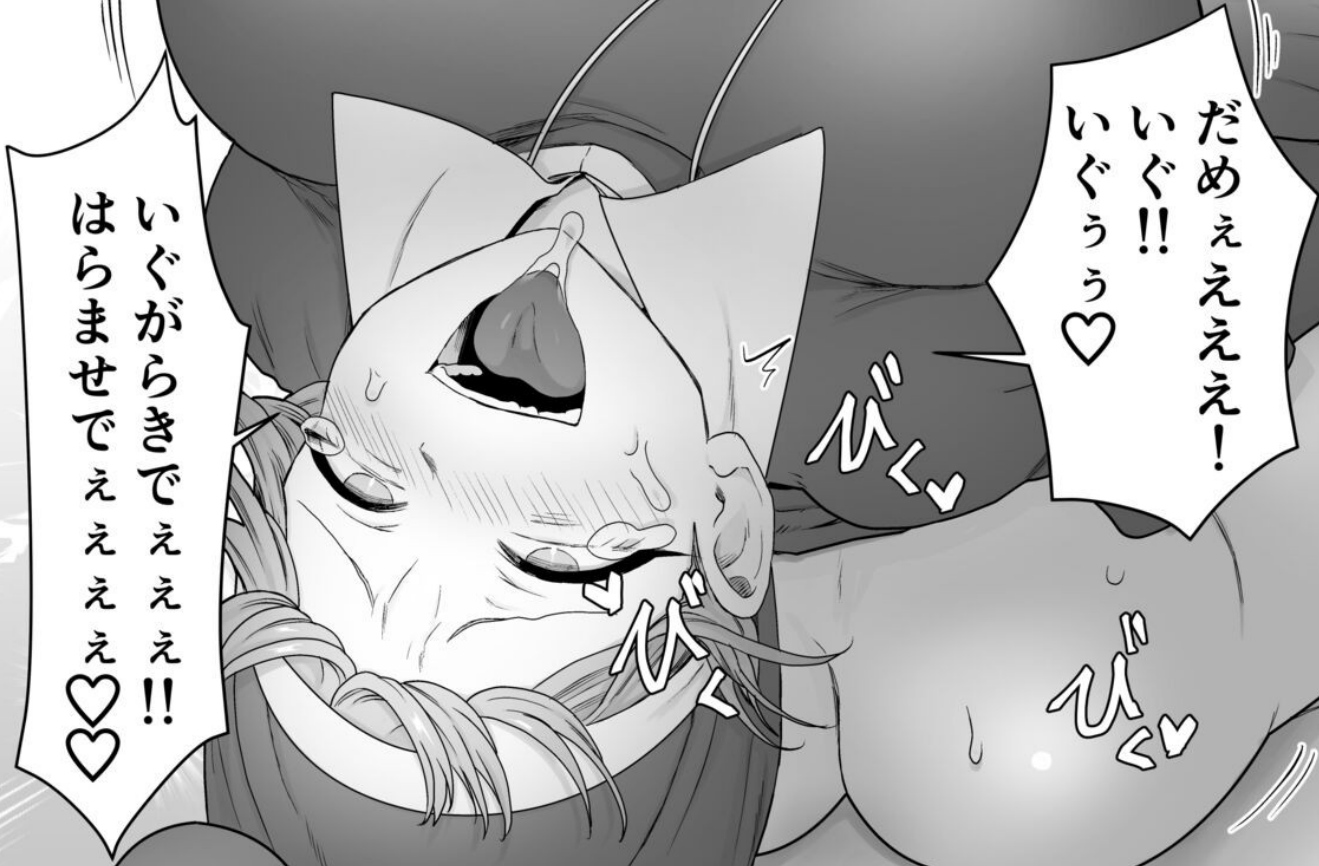
あああ
クツソ気持ちイイ!
ふぐりのイライラ
止まらない!



反省しろ!
この淫乱!

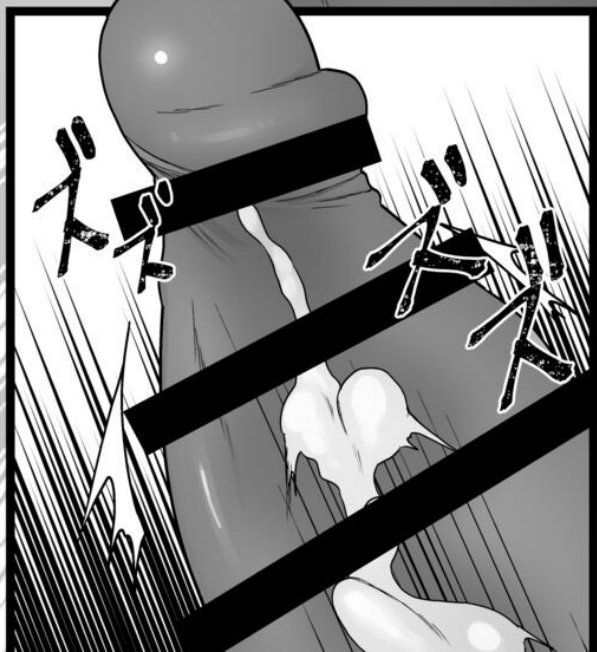
売女!
アバズレ!!

んぎよ!
んぎよ!
♡



だめええええ!
いぐ!!
いぐうう♡

いぐがらきでえええ!!
はらませでえええ♡♡



ぐううう!!





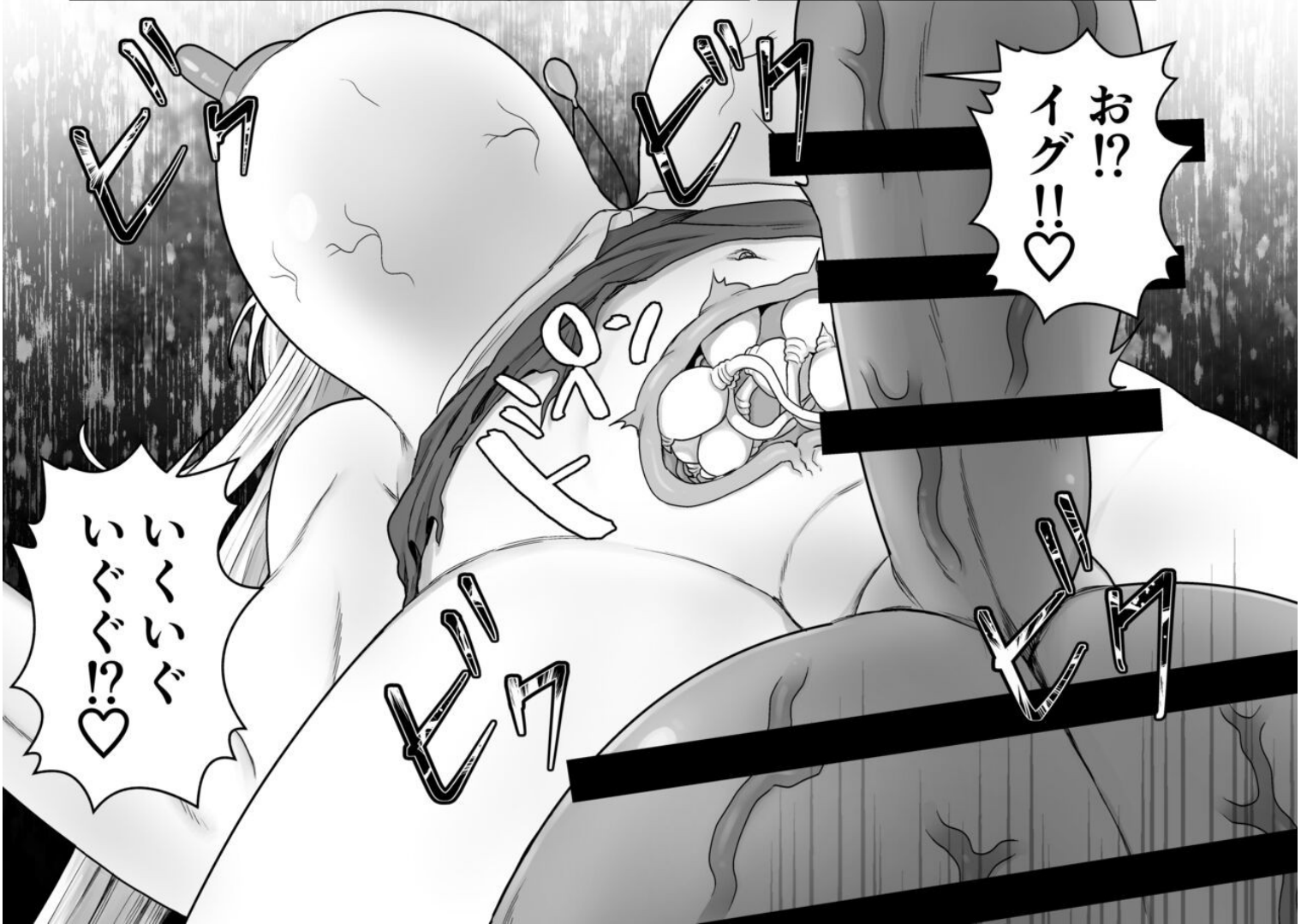
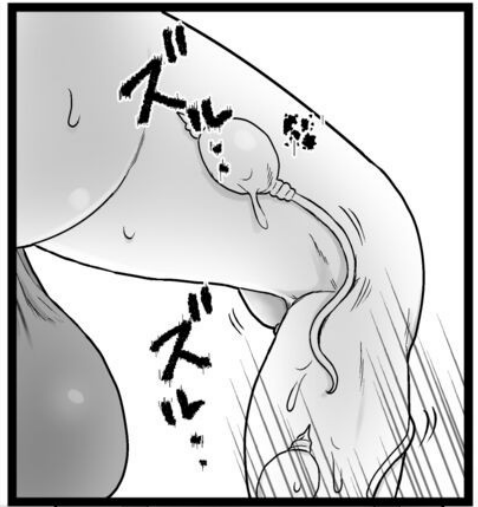
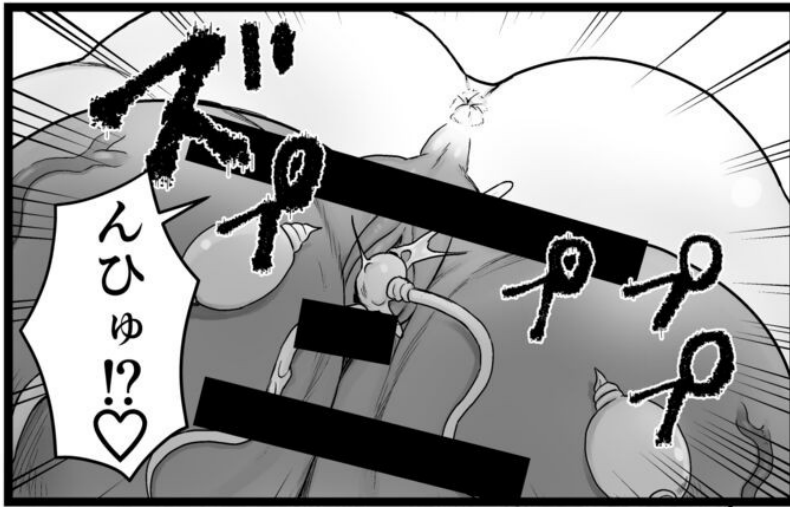
締めろ！
膣締めろおお！！♡

おおお！
また精子
登ってきた♡



ぐぐぐぐ
かがが
かはあ





クワッ
クワッ
クワッ

フホッ
フホッ
フホッ

ハッ

ハッ

ハッ

いっぐ



クワッ
クワッ

クワッ

ハッ
ハッ





ぽん

アキキキ

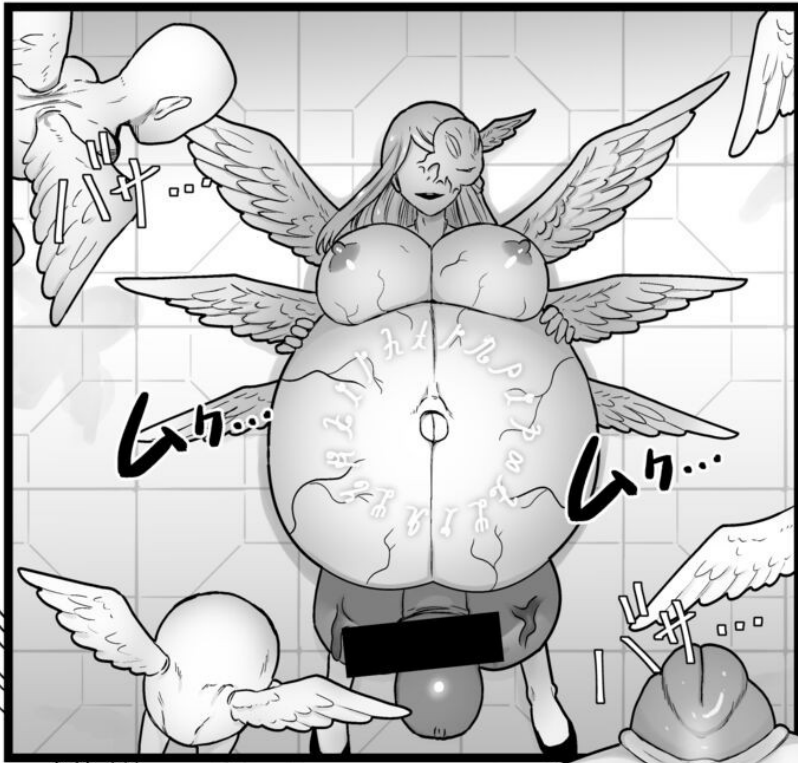


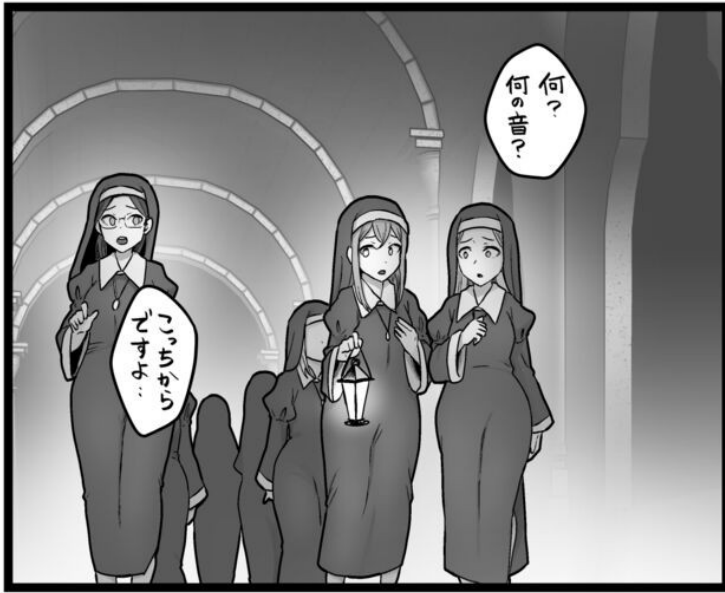
ぽん

ぽん

ゴボ
ゴボ

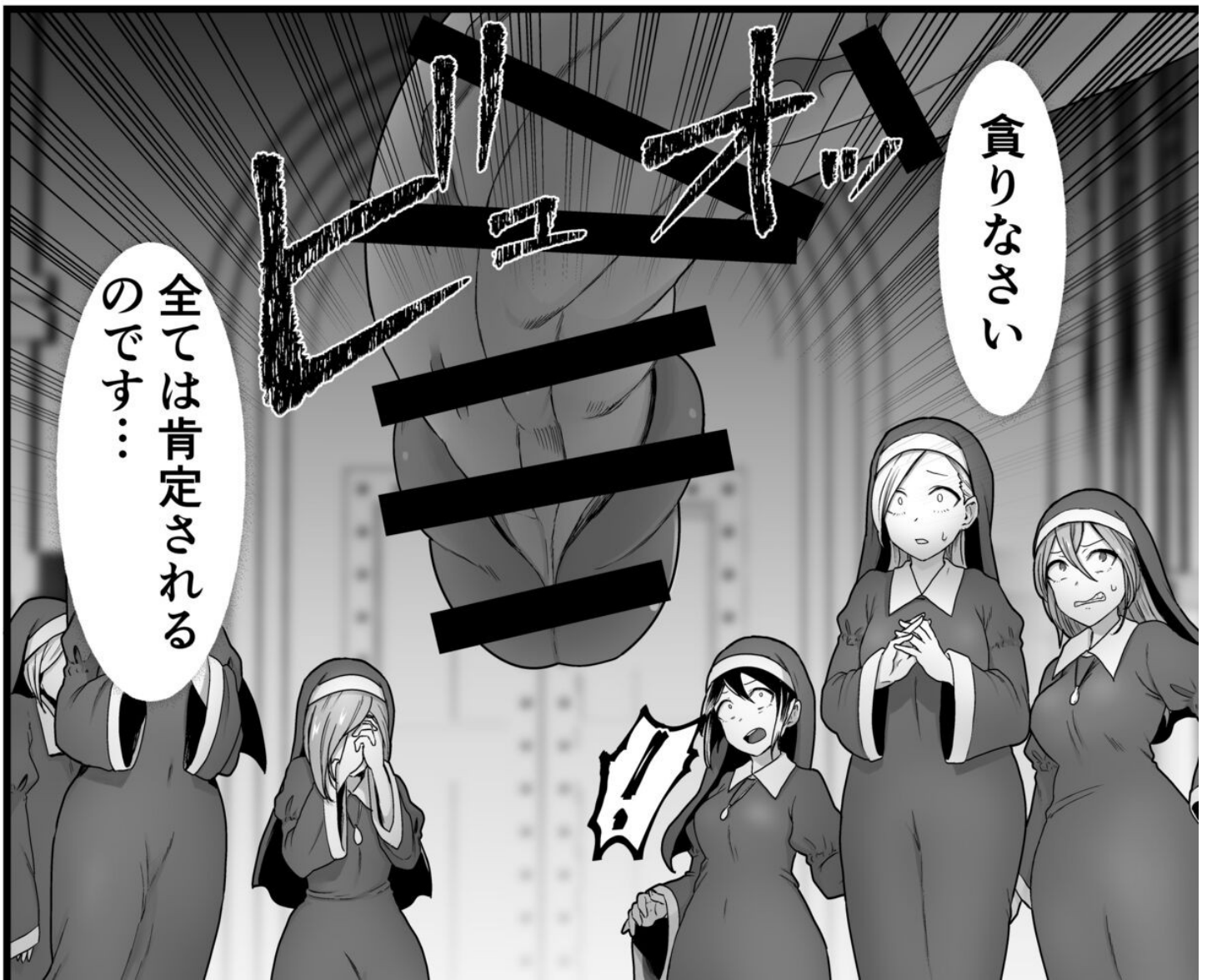
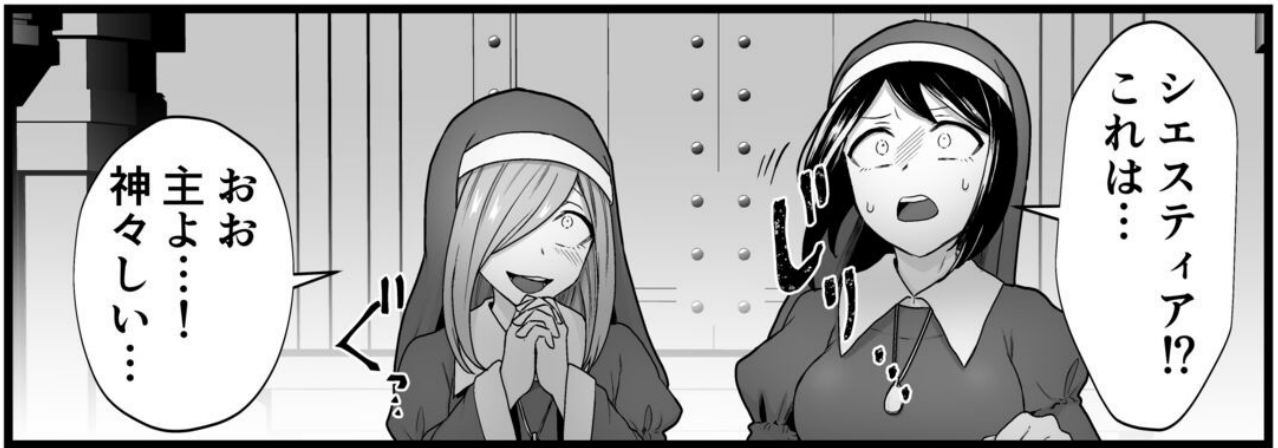
す
うち

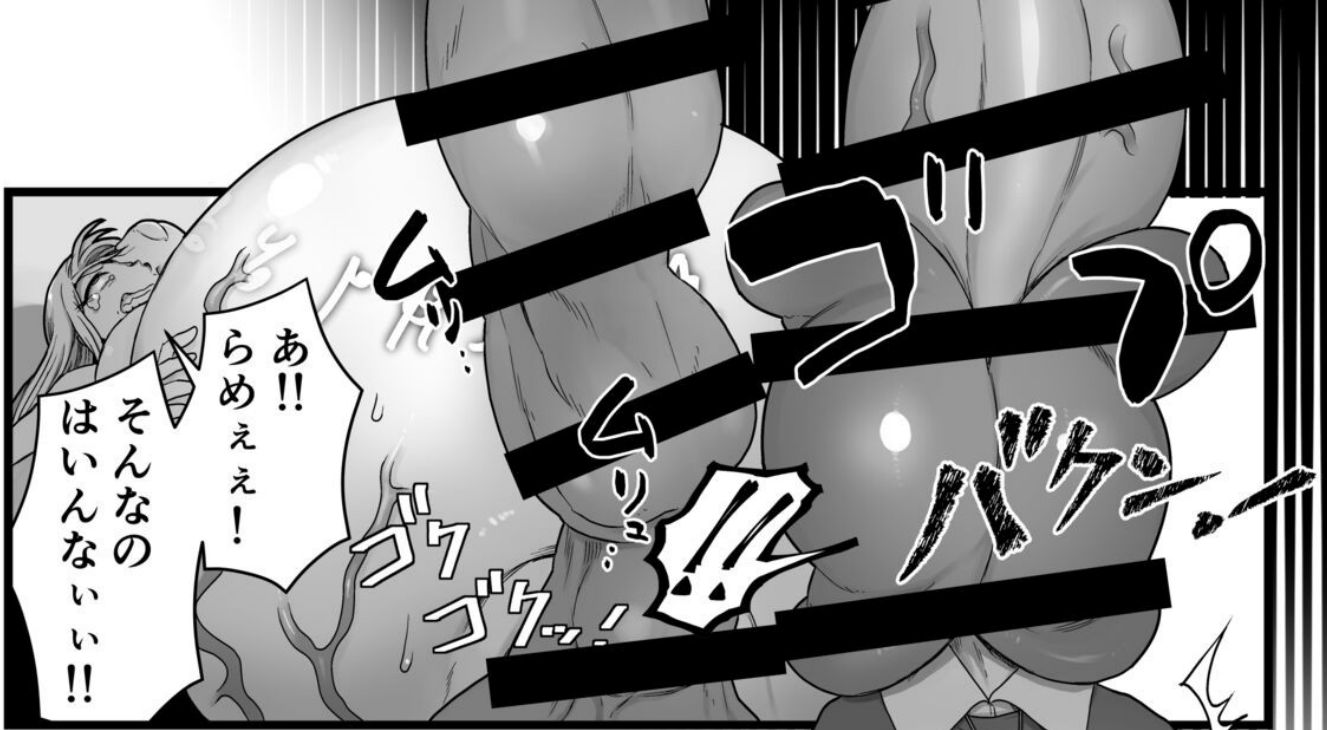




シエステティアよ...
それで
良いのです...
貴方達2人で
この地が増え
埋め尽くしなさい







あ!!
 らめええ!
 そんなの
 はいんない!!

ゴク
 ゴクッ!

ゴク

バクン



ああああ!!!

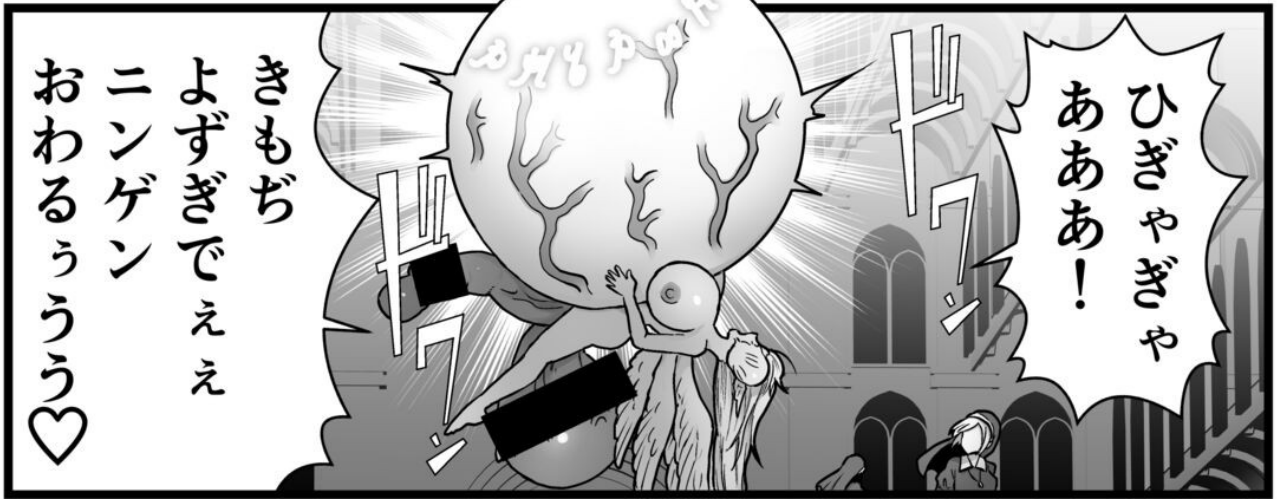
全て一つと
 なるのです...

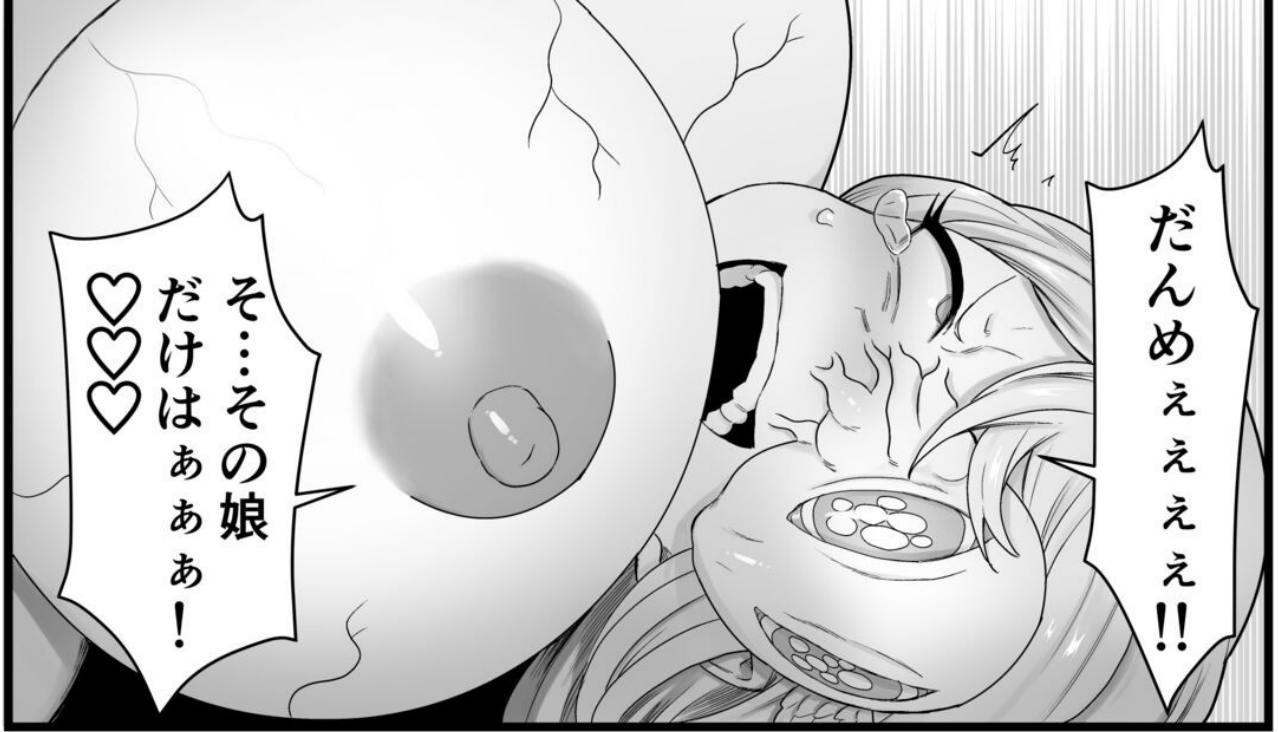
...のもと
 全て
 許されます

貴方はただ
 身を
 委ねなさい...

ゴク
 ゴク
 ゴク

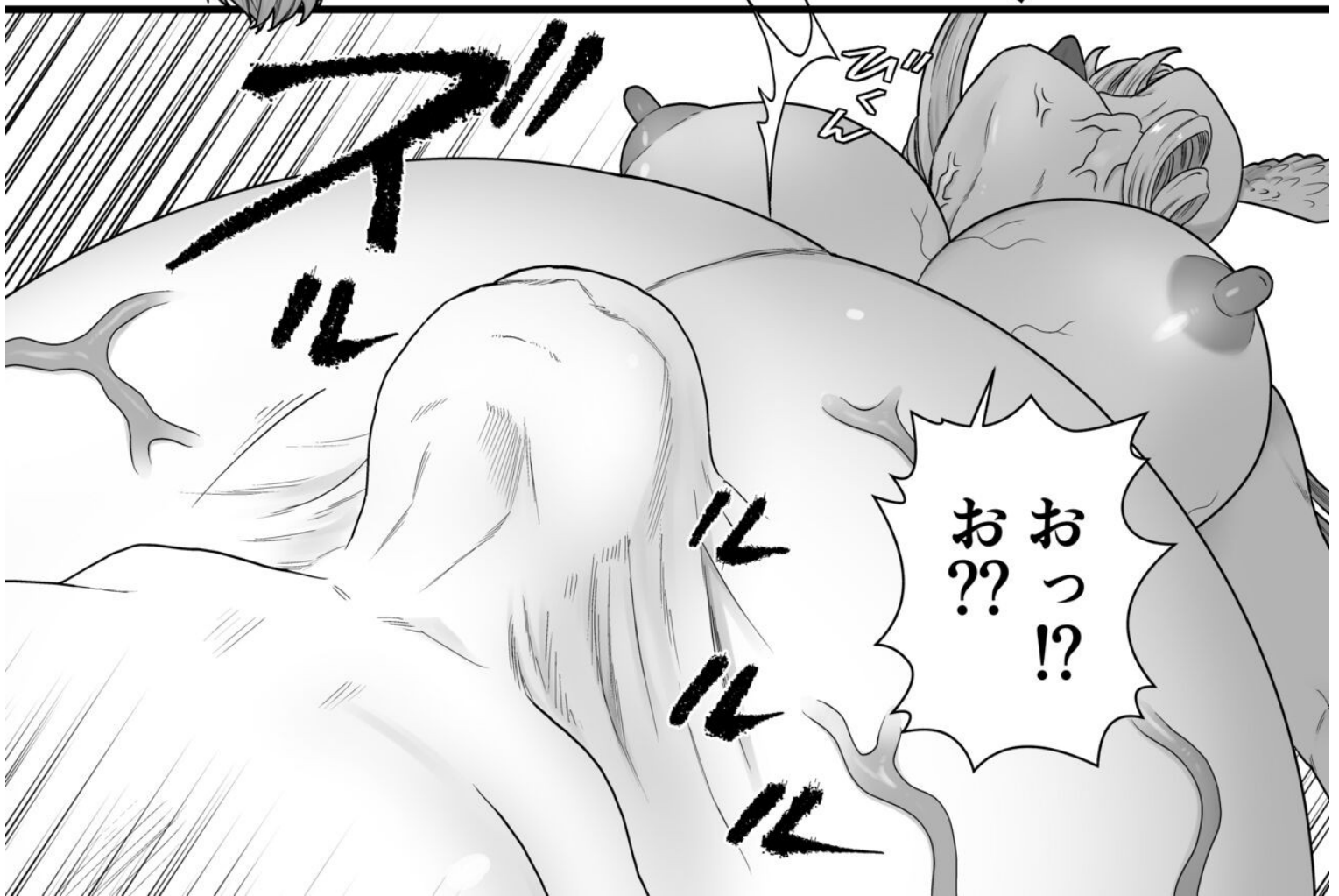
ア
 ア
 ア



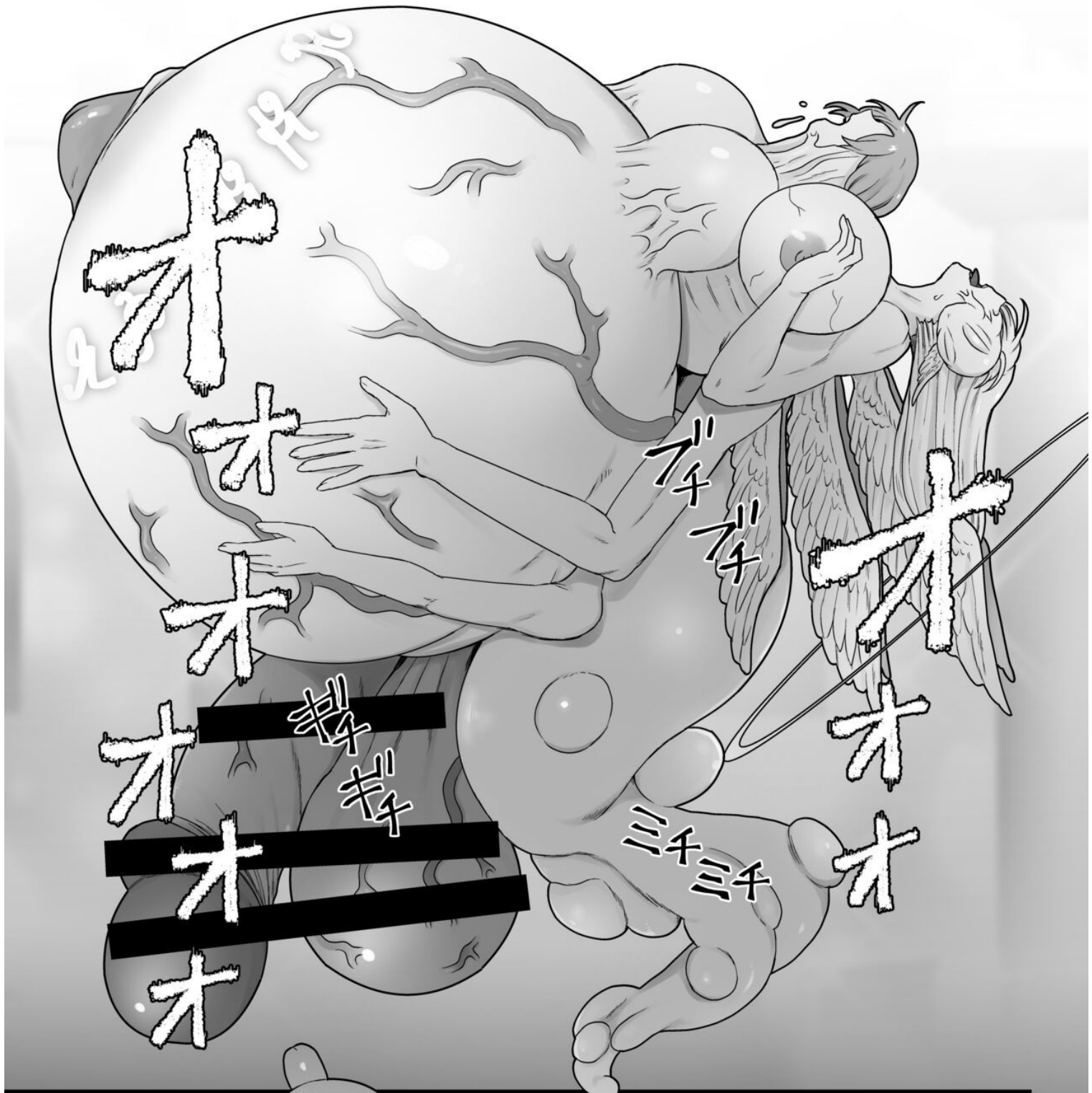


そ…その娘
だけはあああ!
♡♡♡

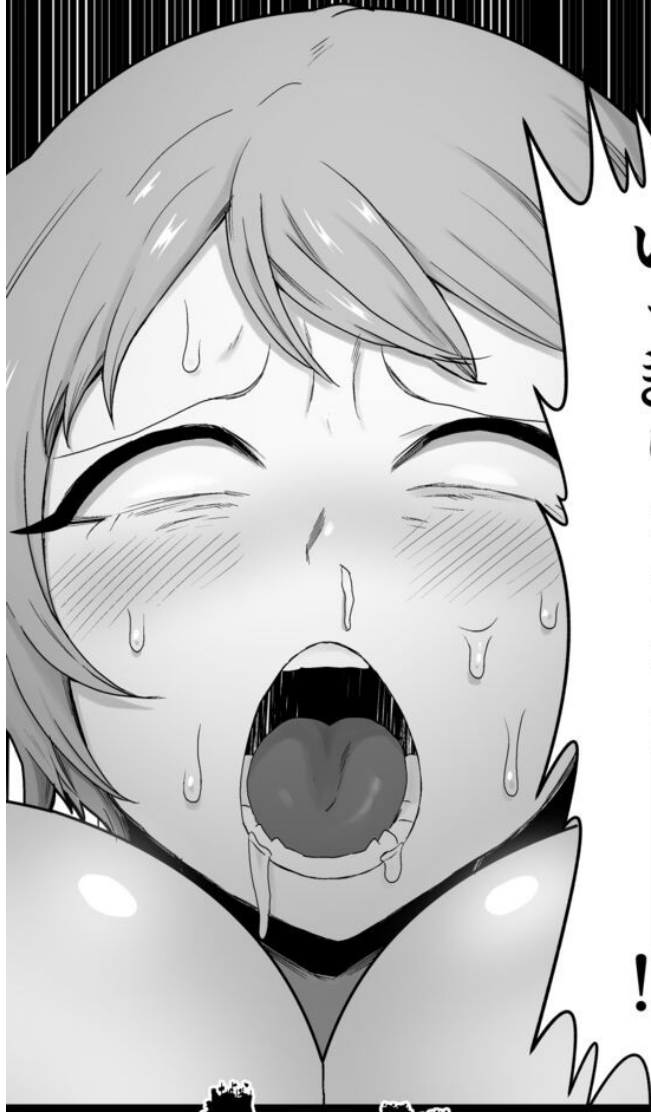
だんめええええ!!



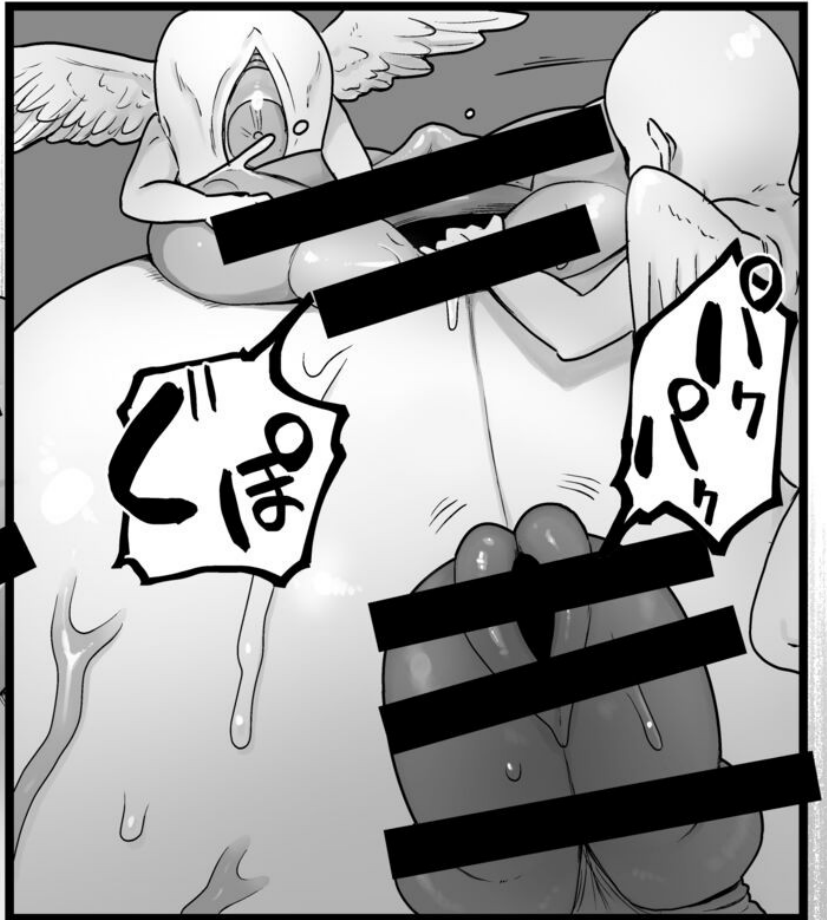
おっ??
おっ!!





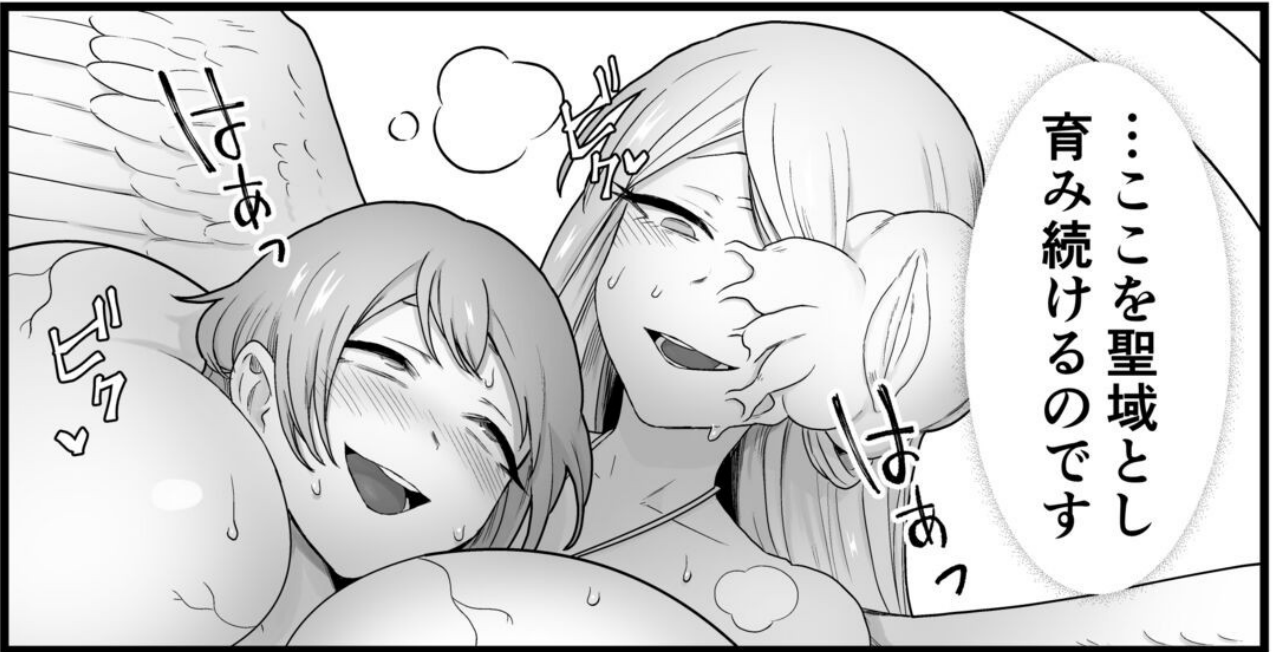
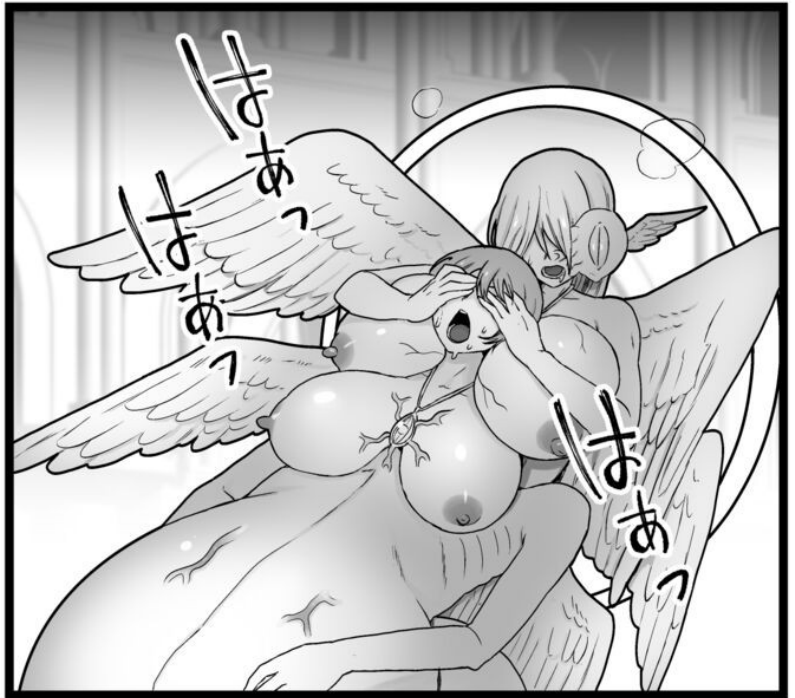


じえんぶ
いつぎゅううううう
!!!





シエステティア：
アニー：
まだ足りません



はあーはあーはあーはあー

巨大精子がシエスティアの秘部へと入り込む

おおお？おあ？？おおお？？またはいつでえええ！！！！

ぬるぬると元気よく大量の精子達が入りこみ次々と受精していく

いい、イク…いぐっ！！いつぐうん！！！！

瞬く間に彼女達の胎は巨大に膨らむ

彼女達は未来永劫周囲の生物を取り込みながら、ここで生命のサイクルを繋いでいく

誰かに討たれるその時まで…











先日、ある地域の修道院に派遣した
聖堂騎士団の団長と
思われる者が変わり果てた姿
で発見された

発見者は掃除の使用人で
彼によると、「それ」は

神殿の大広間に
いつのまにか置かれていたそうだ

他の騎士団員は
以前行方不明で
捜索隊の派遣も
決まっていない

神官長は知らせを受けて、
広間に走る



中央に丸い物体があるのを
確認した神官長

その物体は
人の顔のようなものが
浮き出し、
ドクンドクンと
生きていくように
脈打っていて、
巨大な肉の塊のようだった。

その肉塊の一部には
がかけられており、
微かな声が聞こえている



神官長はゴクリと息を飲むと、その布を払いとる



神官長「こ、これは……」

そこにはかつての騎士団長の顔があった

涙と鼻水でぐしゃぐしゃに濡れた顔はそれとは対照的に

快楽で顔を歪めている

騎士団長に正気は無く小さく喘ぎながら



恍惚の表情を浮かべ

吐息を漏らすばかりだった

神官長「うっ……これは酷い……何をされたらこんな……」

神官長が呟くやいなや、騎士団長だった者の腹がポコポコと激しく震き出す

それに合わせるように激しく喘ぐ

騎士団長？「あっ？おっ？！んぼおおおお！！……」

神官長「？！……どうした！？」

騎士団長？「んのおおおおお
！おおおおお、おおおおお……」

騎士団長は最後の絶頂の雄叫びをあげる

騎士団長の胎内の気配に神官長は後ろに飛び退く

神官長「ひっ……！」



そして肉塊は限界まで膨らみ、その強度は限界を迎え……



騎士団長? 「げ、げびヒイ?!!!!」

バチュン!!! ぽちゅちゅ!!! ポン!!!

湿った大きな音を立てて、肉塊は破裂した

そこから現れた者は背中には歪な天使のような翼、肩からは無数の小さな腕、顔には大きな目を一つだけ持っていた。

この日、この神殿の人間達のほとんどは失踪、神官長も見つかっていない。

僅かに生き残った者達はその恐怖を...

天使憑きの絶望を語り継いだ





